

事務事業及び予算の執行実績
(令和4年度分「一部、令和5年度分を含む。」)

静岡県立静岡北特別支援学校

目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	27
学校施設の概要	28
在籍生徒調	30
入学志願者及び入学者調	32
卒業生の動向調	33
生徒の状況	34
職員調	36
職員の年齢調	42
健康管理	43
保管現金有高調	44
預金調	44
郵券等受払調	45
材料品受払調	46
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	47
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	48
委託料に関する調	49
負担金支出調	54
建築工事調	55
公有財産調	57
借地借家等調	58
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	59
行政財産貸付・使用許可願	60
主要備品調	61
特別支援学校における生産物受払調	62

事務事業の概要

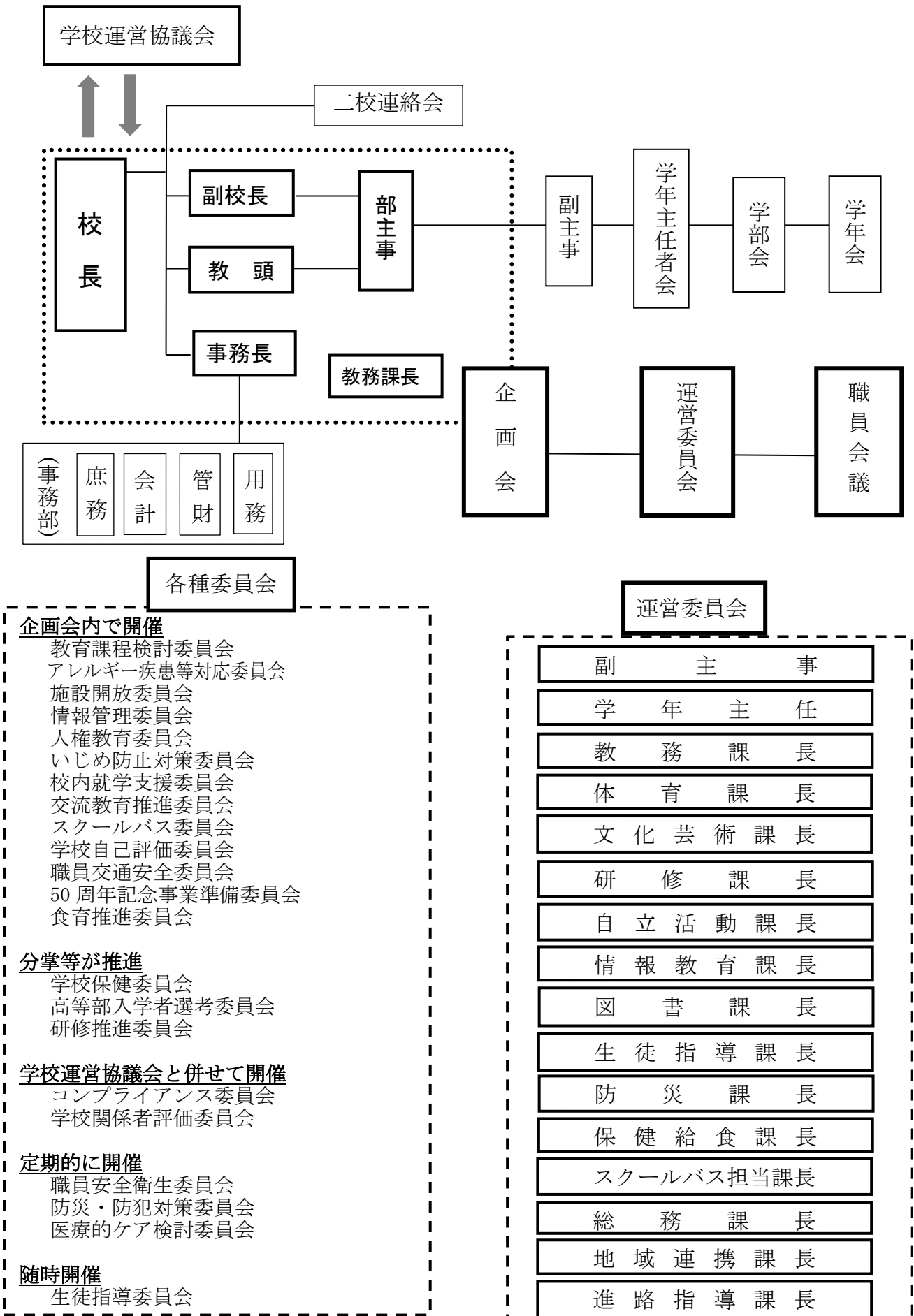
1 概況

(1) 学校の沿革

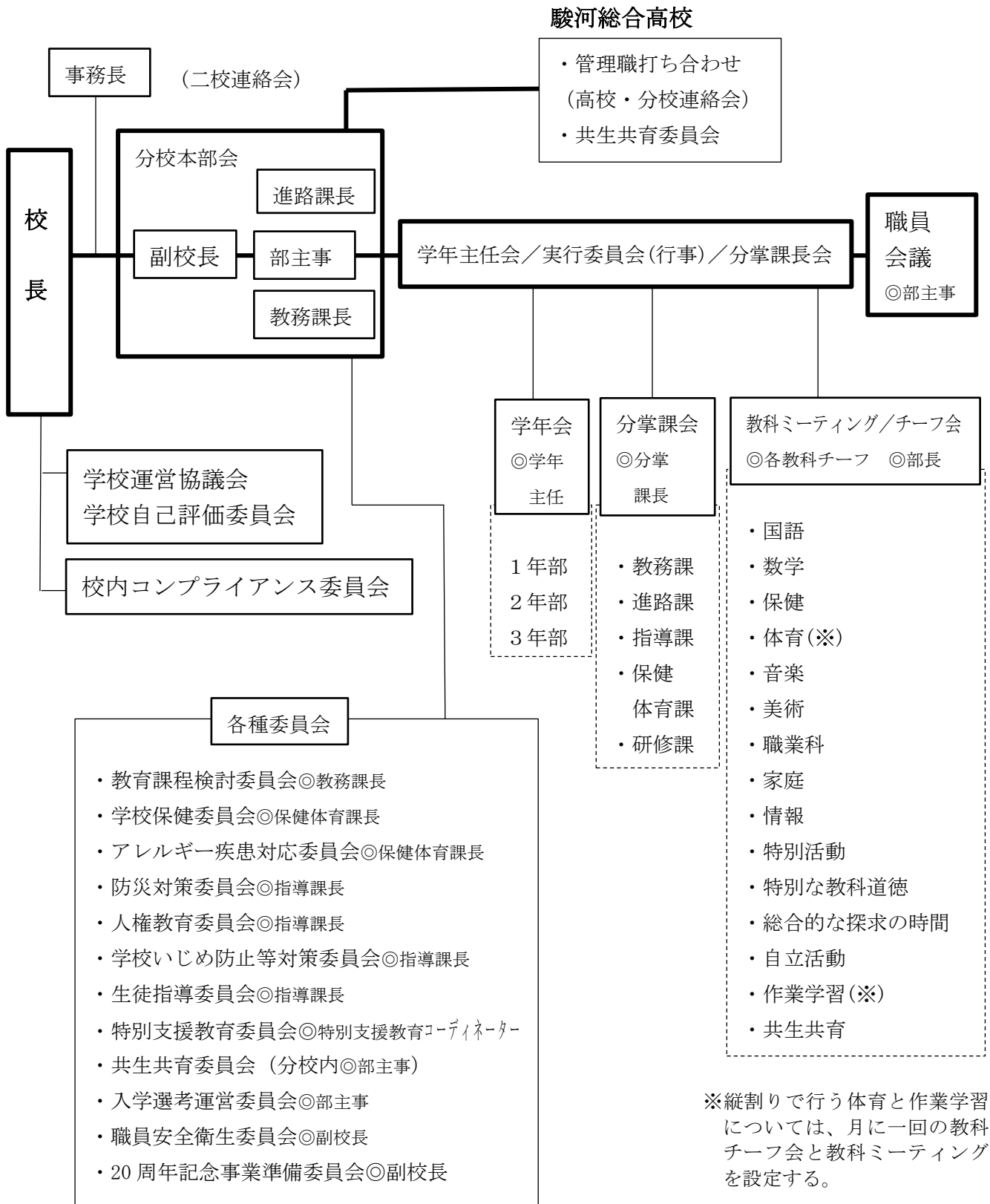
- 昭和 49. 4. 1 静岡県立静岡北養護学校開校 高等部入学定員 20 人
49. 4. 10 静岡市瀬名 2667 番地の 1 (旧静岡市立西奈中学校跡) の仮校舎において開校式及び第 1 回入学式挙行
49. 8. 30 静岡市東字漆山 796 の現校舎へ移転
52. 3. 9 静岡市漆山 796 番地に地番変更
53. 5. 10 創立 5 周年記念式典挙行 校旗・校歌を制定
54. 4. 1 養護学校義務化に伴い東遠学園 (菊川町)・駿遠学園 (金谷町) 内に分教室を設置
56. 4. 1 安倍学園内に分教室を設置
60. 4. 1 高等部入学定員 30 人
- 平成 2. 4. 1 駿遠分教室を藤枝養護学校に、東遠分教室を袋井養護学校にそれぞれ移管
3. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 27 人
6. 2. 10 創立 20 周年記念式典挙行
9. 12. 25 南校舎完成 (軽量鉄骨造、平屋建 287. 86 m²)
11. 3. 19 校舎 (中・高等部棟) 耐震補強工事完成
11. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 36 人
11. 10. 15 校舎 (小学部棟) 耐震補強工事完成
12. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 54 人
13. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 36 人
清水市立清水小学校敷地内に静岡北養護学校清水分校開校
15. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 54 人 (6 学級)
学則変更により、高等部訪問教育を中央養護学校に移管
16. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 57 人、うち 1 学級は重複学級認可
静岡県立静岡南高等学校敷地内に南の丘分校 (高等部) 開校。入学定員 18 人
17. 4. 1 静岡市政令都市移行に伴う住所変更
本 校 静岡市葵区漆山 796 番地
清水分校 静岡市清水区松井町 15 番 1 号
南の丘分校 静岡市駿河区大谷 5762 番地
安倍分教室 静岡市葵区慈悲尾 180 番地
学則変更により、高等部入学定員 48 人、うち 1 学級は重複学級認可
17. 12. 20 体育館耐震補強工事完成
20. 4. 1 静岡県立学校設置条例の改正に伴い、静岡県立静岡北特別支援学校に校名を変更
学則変更により、高等部入学定員 57 人、うち 1 学級は重複学級認可
21. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 48 人、うち 1 学級は重複学級認可
22. 3. 31 新設校 (清水特別支援学校) 開設により静岡北特別支援学校清水分校閉校
22. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 30 人、うち 1 学級は重複学級認可
23. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 39 人、うち 1 学級は重複学級認可
24. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 48 人、うち 1 学級は重複学級認可
25. 4. 1 静岡県立駿河総合高等学校敷地内に静岡北特別支援学校南の丘分校 (高等部) を移転
26. 2. 1 創立 40 周年記念式典挙行 新校歌を制定
26. 3. 31 安倍分教室廃止

- 26. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 57 人、うち 1 学級は重複学級認可
- 27. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 66 人、うち 1 学級は重複学級認可
- 28. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 39 人、うち 1 学級は重複学級認可
- 29. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 57 人、うち 1 学級は重複学級認可
- 30. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 43 人、うち 1 学級は重複学級認可
- 31. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 57 人、うち 1 学級は重複学級認可
- 令和 2. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 66 人、うち 1 学級は重複学級認可
- 3. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 48 人、うち 1 学級は重複学級認可
- 4. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 93 人、うち 1 学級は重複学級認可
- 5. 4. 1 学則変更により、高等部入学定員 48 人、うち 1 学級は重複学級認可
- 学則変更により、南の丘分校（高等部）入学定員 27 人

(2) 組織図



イ 南の丘分校



2 目指す学校像

(1) 教育目標

「夢中」と「笑顔」で共生社会を生きるひと

(2) 目標具現化の柱

<本校>

ア 主体的に学び、社会参加・自立に必要な力をつけることができる学校【専門性】

- (ア) 知的障害教育校として、学校体制でのカリキュラム・マネジメントと、静北版OJTによる「技」の伝え合いを行い、児童生徒に確かな力を育成する。
- (イ) 開校50年目を迎えた本校の校風と組織力を強みに、特別支援学校で働くことの「魅力」を語り共有できる環境づくりと「効率よくかつ迅速な」業務遂行に努める。

イ 安全・安心な生活ができる学校【安全・安心】

- (ア) 教職員自らが人権感覚を高め、児童生徒の人権尊重の精神を涵養する。
- (イ) 児童生徒の授業の充実と健康に配慮した居場所づくりのため、本校の状況を最大限に生かした学習環境の整備に努める。

ウ 家庭や地域、関係機関と共に歩む学校【連携】

- (ア) 地域資源を活用する学習（麻活）を充実させ、地域に発信し、地域に根ざした学校になる。
- (イ) 個別の教育支援計画と個別の指導計画を活用し、保護者、学校、各種機関等が児童生徒を中心に連携する。

<南の丘分校>

ア 主体的に学び、社会参加・自立に必要な力をつけることができる学校【専門性】

- (ア) 知的障害教育校として、指導内容の系統化と育成を目指す資質能力の具体化と、OJTや個々の研修による授業技術と指導力の向上に努める。
- (イ) 作業学習や職業教育の充実を柱に、各教科の学びを深め、キャリア発達支援を目指す。
- (ウ) 特別支援学校で働くことの「魅力」を語り、共有できる環境づくりと「効率よくかつ迅速な」業務遂行に努める。

イ 安全・安心な生活ができる学校【安全・安心】

- (ア) 教職員、生徒がともに人権感覚を高め、自他を尊重する精神を涵養する。
- (イ) 教職員、生徒・保護者の連携のもと、命を意識した習慣と安全な生活環境を整える。

ウ 家庭や地域、関係機関と共に歩む学校【連携】

- (ア) 立地条件を生かし、地域と協働し地域に貢献することで地域に根ざした学校にする。
- (イ) 個別の教育支援計画を活用し、保護者、学校、各種機関等が生徒を中心にして連携する。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和4年度の取組目標への評価及び成果と課題（重点目標はゴシック体で記載）

<本校>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
専 門 性	学校体制でのカリキュラム・マネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の状況、学年の押さえ、学習指導要領の目標・内容、単元や題材の持ち味等から授業の根拠を語る事ができる教員 100% 授業の根拠について説明を受けたと答える保護者 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 教員達成 100% 保護者達成 90.7% 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に関する学習会を行ったり、授業を考える際に参考にしたりする等、学習の根拠として学習指導要領の活用意識が高まった。 年間学習指導計画の作成や活用について、今年度の各学部での取組をベースにして継続、発展させていけると良い。
	児童生徒理解に基づく「夢中」と「笑顔」の授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> 授業が楽しい、できるようになったことが増えたと答える児童生徒や保護者 80%以上 タブレットを使用した授業1回・静北版OJT研修で「技」の伝え合いを行った教員 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒達成 72.5% 保護者達成 91.3% タブレット達成 95.8% OJT研修達成 94.5% 	B	<ul style="list-style-type: none"> 「授業が楽しい」と答えた児童生徒について、前年度の61.5%からは増えているが目標には達していないので継続していきたい。 タブレット利用の自由度は増しているが、活用の幅が限られている。事例を紹介し、活用の幅を広げたい。 学部会内にOJT研修の時間を設定したことが有効だった。
	月45時間以内を目指した時間外勤務の削減	<ul style="list-style-type: none"> 自分で決めた時刻に退勤できた職員 100% 会議終了時刻の遵守 100% 事務室から教員への確実な情報提供 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 職員達成 94.1% 職員達成 95.4% 職員達成 100% 	A	<ul style="list-style-type: none"> 個人としても計画的に業務を進める意識が高まった。 提案内容の精選、早めの提案、検討事項の明確化等の工夫や意識の向上により予定時間内で終われる会議が増えた。 事務室からの情報提供にとどまらず、要望に応じた提供の必要性を考えたい。

安全・安心	自他を尊重し合う環境の維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶と感謝の言葉がよく聞かれたという保護者・職員 100% ・児童生徒の人間関係や学習上・生活上困っていることの把握に努め、早期に対応したと答える教員 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者達成 89.4% ・教員達成 99.3% ・教員達成 96.6% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・職員評価に反し、保護者からはできていないという指摘もあるため「挨拶と感謝の言葉」の大切さを周知し取組を継続する。 ・早期対応できるよう、連絡体制を整え、意識的に行動していきたい。 ・積極的な生徒指導充実のための工夫と事案の認知や記録の体制を整備したい。
	未然防止への行動力と有事への対応力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの情報共有 100% ・有事の際の自分の動きを具体的に想定できる職員 100% ・学習中のけがや病気の発生ゼロ ・予算立案・執行に係る事務室と各学部各分掌課との協働 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員達成 97.4% ・職員達成 99.3% ・職員達成 95.2% ・職員達成 97.3% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットや防災の情報が共有できるよう、朝の打合せやPC 掲示板で発信できた。 ・実際の児童生徒・教職員の動きを想定した防災訓練を継続実施していく。 ・毎月安全点検を実施し、安全な学習環境の整備に努めた。 ・各学部各分掌課と連携し、正確な事務処理が行えた。学校全体として予算の優先順位の考え方を確立したい。
連携	豊かな地域資源への深い理解と、それを活かした実践、発信	<ul style="list-style-type: none"> ・12年間の麻活の指導内容を理解している教員 100% ・本校の麻活の取組を知っていると答えた保護者 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員達成 89.0% ・保護者達成 89.3% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学部内での麻活は充実していた。他学部の麻活理解に向けて研修を行っていきたい。 ・麻活について学校だより、リーフレット、ホームページ等で情報発信し、取組状況を伝えることができた。
	1年後、3年後、卒業後の夢を描き、関係機関と連携して実現する	<ul style="list-style-type: none"> ・1年後、3年後に向けての具体的な取組を示すことができた教員 100% ・了解したと答える保護者 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員達成 100% ・保護者達成 93.2% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、教員が取組に対する進捗状況を確認・報告したり、支援方法を提案したりして、両者への取組への意識を高めていきたい。

<南の丘分校>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
専門性	各教科のめざす姿を明確にした教育課程編成	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会で新学習指導要領と照らし合わせ、年間指導計画上の課題を見つけたり、修正したりできた教員 80% ・図書コーナー、と書棚を活用し、積極的な利用を呼び掛けた教員 80% 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員評価 88% ・教員評価 100% ・図書コーナーの環境改善に取り組み、生徒の図書委員会活動を中心として読書活動に取り組んできた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会で新学習指導要領の内容を確認しながら年間指導計画の見直し、改善につなげる取組ができた。次年度は、他学年との指導の系統性や教科等横断的な視点で学習内容を確認・修正していく。 ・図書委員会を中心に主体的に図書利用するよう工夫していく。
	「学び、考え、発信し合う」姿を引き出す作業学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・働き、生活することを自分事として考え行動することができた生徒 100% ・授業作りで学習指導要領を読み、参考にした教員 80% ・授業研究、OJT、SUTで学んだ知識や技術を活用して、授業をした教員 90% 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の良さや課題に気づき、目標を立てることができた、または概ねできた」と回答した生徒 96% ・「授業が分かった、役に立ったと思う、またはだいたいそう思う」という生徒 89% ・教員評価 94% ・教員評価 94% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・高等部に来て、国語や数学を好きになったという意見もあり、「好き」になることを入口に学びが生活に役に立つ実感を持てるようにしていく。 ・機会をとらえて学習指導要領を読み、授業作りに取り組むことができた。次年度は教科会で作成している年間指導計画新様式を入口に研修を重ねる。 ・次年度は、自立活動を中心にしたOJT、SUTの取組を行っていく。
	業務のスリム化と教職員の時間への意識向上	<ul style="list-style-type: none"> ・定められた定時退勤日以外にも、定時で帰宅した日があった教員 80% ・交通事故事犯 0件 ・セクハラ、パワハラ 0件 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員評価 89% ・交通事故 2件 生徒 1件、 教員 1件 ・セクハラアンケート 1件 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・行事によって遅くなる月もあったが、多くが定時での帰宅を心掛けていた。少ない人数での学校経営のため業務の重複もある。その中でも業務の精選・見直しをしていく。 ・自転車・自動車運転の交通安全指導を重ねて行っていく。 ・不祥事根絶に向け、研修を重ねていく。
安全・安心	自分の安全と健康を守る習慣と環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の命の大切さを理解し、前向きな行動ができた生徒 90% ・系統的、段階的な体力向上に向けた指導ができた教員 90% ・実態に合わせた性に関する授業や指 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に安心して通えていると回答した生徒 96%、学校は楽しいと回答した生徒 84%となっている。 ・教員評価 100% ・教員評価 100% ・1.5点以上 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・救急法講習会や防災学習の指導等で命の大切さ、自分の身を守ることを学習できた。今後も、生徒が「学校が楽しい」という関係性作りを意識していく。 ・実態別トレーニングや系統的、段階的な体力づくりを実施できた。また、生徒からも「知ることができてよかつ

		<p>導が実施できた教員 90%</p> <ul style="list-style-type: none"> 新体力テスト2種目の平均を2点上げる。 			<p>た」という意見も多く聞かれる。今後も実態に応じた学習を組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新体力テストについては目標に届かなかった。次年度は、生徒自身が主体的に体を動かすことができるよう、運動の仕組みや競技の特性、文化、歴史などスポーツ概論、体育理論を取り入れた授業を行っていく。
連携	<p>分校の存在感の発信と地域活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校の様子がよく分かったという保護者、参観者 100% 交流活動が理解啓発となった外部機関 80% 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケート 95%、参加者アンケート 99% 	B	<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、中学生向けの学校公開が進路を考える一助となるようにしていく。また、情報発信の方法を工夫していく。
	<p>進路希望実現に向け、本人が納得して進む進路指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を得ることができ、学校と連携したと答える保護者 90%以上 研修が役に立ち生徒の学びが深まったと答える教員 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケート 95% 教員評価 94% 	A	<ul style="list-style-type: none"> 個別面談等を通して、進路や職場実習、生活面での必要な情報を得ることができたと回答。保護者の悩みや必要な情報については、今後も担任だけでなく、学年、学部で情報共有して当たっていく。 生徒アンケートより、「分かった、役に立った授業があったか」の質問に、職業、職場実習、作業学習をあげた生徒が45%だった。次年度も、職業科を窓口とする研修課と連携して授業に臨み、生徒の学びを深めていく。

(2) 令和5年度の取組目標・達成方法・成果目標（重点目標はゴシック体で記載）

<本校>

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
専門性	学校体制でのカリキュラム・マネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・系統性と教科等横断的な視点を押さえた年間学習指導計画の実施・評価・改善 ・授業づくりのPDCAサイクルにおける学習指導要領の活用方法の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の状況、学年の押さえ、学習指導要領の目標・内容、単元や題材の持ち味等から授業の根拠を語ることができる教員 100% ・授業の根拠について説明を受けたと答える保護者 95%以上 	教務 体育 文化芸術 研修 学部
	児童生徒理解に基づく「夢中」と「笑顔」の授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒ができた喜びを感じ、学びを広げるためのまとめや振り返りの工夫 ・GIGA スクール構想による端末を使用した授業の推進 ・専門性向上に資するあらゆる場面での「技」の伝授、静北版OJT研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業が楽しい、できるようになったことが増えたと答える児童生徒や保護者 80%以上 ・タブレットを使用した異なる授業実践 2回 ・あらゆる場面での静北版OJT研修で「技」の伝え合いを行った教員 100% 	自立活動 情報教育 研修 図書 学部
	月45時間以内を目指した時間外勤務の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・退勤時刻の申告と見える化による共有、言葉の掛け合い ・会議時間を守るための資料事前配布と話し合いを活発にするための議題精選および双方向の場づくり ・業務の共有化を図るため、業務改善の継続（事務） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で決めた時刻の退勤を目指し、タイムマネジメントをした職員 100% ・時間内の終了と双方向の場づくりを目指した会運営に参加又は協力できた教職員 100% ・事務室から教員への確実な情報提供 100% 	学年 学部 教務 事務
安全・安心	自他を尊重しあう環境の維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに挨拶と感謝の言葉を積極的に掛け合う雰囲気づくり ・セクハラ、いじめに気付き身を守る指導、人間関係や学習上・生活上児童生徒が困っていることの積極的な把握と早期対応の体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶と感謝の言葉がよく聞かれたという保護者 90%以上、職員 100% ・児童生徒の人間関係や学習上・生活上困っていることの積極的な把握に努め、早期に組織で対応したと答える教員 100% 	生徒指導 学部 学年
	未然防止への行動力と有事への対応力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルの理解、日常的な事故原因の発見と情報共有 ・健康及び安全等に配慮した学習環境の設定 ・事務室と各学部及び各分掌における行事や予算等に係る密なやりとり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの情報共有 100% ・有事の際の自分の動きを具体的に想定できる職員 100% ・学習中のけがや病気の発生ゼロを目指し、具体的な予防策に取り組んだ教員 100% ・予算立案・執行に係る事務室と各学部・各分掌課との協働 100% 	防災 保健給食 体育 スクールバス 生徒指導 総務 事務

連携	豊かな地域資源への深い理解と、それを活かした実践、発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「麻活」の充実のための情報提供と職員研修の実施 ・学校運営協議会との協働 ・学校ホームページの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・12年間の麻活の指導内容を理解している教員 100% ・本校の麻活の取組を知っていると答えた保護者 90%以上 	地域連携 学部 図書
	1年後、3年後、卒業後の夢づくりと関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・連携機関や進路先との個別の教育支援計画の有効活用 ・一人一人の夢づくりと個別の指導計画を活用した目標達成のための具体策の検討と共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年後、3年後、卒業後の夢の実現に向けた具体的な取組を示すことができた教員 100%、目標を共有して取り組むことができたと答える保護者 95% (小 100%、中 95%、高 90%) 以上 	進路指導 地域連携 自立活動

<南の丘分校>

	取組目標	達成方法	成果目標	担当部署
専門性	各教科のめざす姿を明確にした教育課程再編	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会活性化による新学習指導要領に対応した南の丘年間学習指導計画の作成を基に、段階的系統的な指導の構築及び充実 ・個別の教育支援計画、個別の指導計画等を活用した教育活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・他学年との指導の系統性や教科等横断的な視点で年間指導計画の反省・改善ができたと答える教員 85%以上 ・個別の諸計画等における目標設定や振り返りで、自分の成果や課題、次の目標が明確になったと答える生徒 80%以上 	教務課
	「学び、考え、発信し合う」姿を引き出す授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自分の良さを実感し、目の前の課題を自分事として考え、発信する授業 ・SUTで知識を得、授業研で高め合う南の丘OJT ・コミュニケーションの広がりを生徒と教職員が共に体感するICT活用とNIE活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを知り、受け止め、行動につなげることができた生徒 100% ・自立活動の生徒一人一人の目標を学年で共通理解し、指導ができたと答える教員 85%以上 ・授業研究、SUT、研修会で学んだ知識や技術を活用して、授業をした教員 95%以上 ・ICTを活用した授業、またはNIE活動を含めた授業を行った教員 100% 	研修課 自立活動主任
	業務のスリム化と教職員の時間への意識向上	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板の活用、打合せの時間短縮などによる事務研修時間の確保と時間管理意識の向上 ・合言葉で進める不祥事根絶計画でなごやかでおだやかなチーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議内容を絞り、会議を計画的に進め、時間内に終了できたと答える教員 80% ・交通事故事犯 0件 ・セクハラ、パワハラ 0件 	学部

安全・安心	自分の安全と健康を守る習慣と環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討会や職員研修を活用した一貫性と継続性を保った生徒指導 自分の身を守る知識・技能の向上 生徒の実態を踏まえ、外部講師を活用した安全・健康性の指導、自他を尊重する心の教育の系統的で段階的な指導 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導における学校としての方針が分かり、人権を尊重した適切な支援・指導ができた教員 100% 自他の命の大切さを理解し、心や体の健康づくりのために行動ができたとする生徒 90%以上 生徒の実態に合わせた心身の健康に関する授業や指導ができた教員 90%以上 	指導課 保健 体育課
連携	分校の存在感の発信と地域活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 互いを認め、尊重し合う心を育てる併設高校との授業交流や近隣学校・施設との交流活動の実施 教育活動等を地域に発信 	<ul style="list-style-type: none"> 交流活動等により、感想を伝えることができたと答えた生徒 85%以上 学校の様子がよく分かったという保護者、参観者 100% 学校公開が進路を考える上で役に立ったと答える参加者 80%以上 行事や交流活動等、学習の様子をホームページに更新した。各学年 学期に1回以上 	学部 特別支援教育コーディネーター 学年部
	進路希望実現に向け、本人が納得して進む進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 自らの意志と責任で自己の進路を選択、決定できる生徒を育てる授業実践 保護者対象の学習会や見学会の充実により、保護者と連携した進路指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 授業や職場実習を関連付けながら生徒の学びを深め、生徒が自己選択、自己決定できたと答える教員 90%以上 担任との相談を含め、進路について自己選択できたと答えた生徒 90%以上 必要な情報を得ることができ、学校と個別の教育支援計画を活用し、連携できたと答える保護者 90%以上 	進路課

4 監査対象期間における特色ある取組

<本校>

年度	取組概要	成果及び課題
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒理解に基づく「夢中」と「笑顔」の授業づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の的確な実態把握と授業の導入の工夫に重点を置き、PDCA サイクルに基づく授業研究を行った。 タブレットを使用した授業づくりを働きかけた。 授業づくりに活かせる「技」の伝授、静北版OJT 研修を行った。
	<ul style="list-style-type: none"> 未然防止への行動力と有事への対応力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティチェックや、不審者対応、事故発生時対応、災害時対応等の訓練を実施し、マニュアルの理解と行動・対応力の向上を図った。 職員間でヒヤリハットの情報共有をし、健康

		及び安全等に配慮した学習環境が整うよう努めた。
	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな地域資源への深い理解と、それを活かした実践、発信 	<ul style="list-style-type: none"> 各学部で、地域資源を活用した学習「麻活」の充実のための情報提供や職員研修を行った。 「麻活」の充実と効果的な情報発信について、学校運営協議会で協議を行った。助言を活動に生かすことができた。
5年度	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒理解に基づく「夢中」と「笑顔」の授業づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 学部ごとの研修の進捗状況を踏まえ、次年度からの新たな研修テーマにつなげるための課題分析をしていく。 タブレットを目的に応じて活用するための研修を学部ごとに推進していく。
	<ul style="list-style-type: none"> 未然防止への行動力と有事への対応力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 学校だけでなく、それぞれが暮らしている地域の防災訓練への参加を促していく。地域の人たちに知っておいてもらうことが大事。
	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな地域資源への深い理解と、それを活かした実践、発信 	<ul style="list-style-type: none"> 職員に他学部の麻活について理解を深めていくことができるように情報共有していく。 麻活の取組を知っている保護者が89%以上というのは、立派な成果である。今年度も保護者への実践のねらいや活動内容の説明等の発信をしていく。

<南の丘分校>

年度	取組概要	成果及び課題
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 生徒理解、適切な指導につながる職員研修 	<ul style="list-style-type: none"> 思春期、青年期に当たる知的障害・発達障害の生徒理解を深め、適切な支援・指導につなげられるような研修を年3回実施した。生徒の生活背景にも寄り添い、生徒に伝わる言葉かけを心掛けるなど、適切な指導につながってきた。
	<ul style="list-style-type: none"> 職業科を窓口とした学部研修 	<ul style="list-style-type: none"> 窓口を作業学習から職業科に変え、授業の充実を図った。生徒が自己理解を深め、自分自身の将来の姿を考えて取り組み、目標を達成する経験を積み重ねる授業を行った。 生徒は自分の良さや適性、苦手なことや課題を理解できるようになってきたが、それを改善するための行動に移すことが難しい。今後の研修における課題としていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会の組織を活用した地域へ向けた発信 	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会の皆様と本校の課題を共有し、解決策を検討した。「地域の方に南の丘分校について知ってもらい、サポーターを増やしていく」ことを目標とし、実践に向けて準備してきた。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへの掲載ができる職員を増やしていくことで、以前よりも情報を発信できるようになった。
5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒理解を基にした授業力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招いた研修を2回、人権に関する研修を2回計画・実施し、思春期・青年期にある生徒理解と適切な指導・支援につなげていく。また南の丘分校の生徒全員を、全職員で共通理解して指導・支援をすることを共有していく。 ・学部研修の窓口を職業科とし、生徒自身が自己理解を深め、よりよい生活の実現に向けて改善しようとする力を育てる授業づくりをしていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・日課に位置付けた自立活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が自分の良さや適性について理解を深めること、また、自分の課題に気づき、主体的に改善・克服しようとする力を育てる授業としていく。 ・同じような課題や目標を持った仲間と一緒に取組み、刺激し合い、互いに気付いたことを共有するなどして切磋琢磨していけるよう、グループごとの学習を設定する。互いのグループがどのような授業を行っているのか、教員同士が共通理解できるよう場を設定する。 ・生徒個々の自立活動での学びを他の教科に生かせるよう、教職員が情報共有できる書式を今年度検討していく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の組織を活用した地域へ向けた発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・南の丘分校について知ってもらうための活動を学校運営協議会で提案していただいている。区役所等、近隣施設での情報発信や、卒業後の生涯学習につながるような学習を計画していく。 ・学年ごとに発信している学年便りを活用して、日頃の生徒の取組をホームページでも発信するようにし、更新数を増やしていく。

5 教職員について

(1) 令和5年度異動状況

<本校>

区分	本務職員											本務 計	臨時職員		会計年度任用職員					臨時・ 会計年度	合計
	教育職員							行政職員					教諭	事務職員	非常勤講師	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	実習支援指導員			
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	小計	事務長	事務職員	栄養士	小計										
転出		1		21	1	1	24	1	1		2	26	8						8	34	
退職				2			2					2	3		2	2	1	1	9	11	
転入		1		12	1	1	15	1	1		2	17	6						6	23	
任用替																		1	1	1	
新任				4			4					4	5			3			8	12	
再任用									1		1	1							0	1	
差引増減	0	0	0	△7	0	0	△7	0	1	0	1	△6	0	0	△2	1	△1	0	△2	△8	

<南の丘分校>

区分	本務職員			本務 計	臨時職員		会計年度任用職員		臨時 計	合計
	副校長	教諭	養護教諭		教諭	主事	非常勤労務職員	非常勤講師		
転出		3		3						3
退職		2		2						2
転入		4		4						4
任用替										
新任								1	1	1
再任用										
差引増減	0	△1	0	△1	0	0	0	1	1	0

(2) 現員数

職名 区分	本務職員											本 務 計	臨時 職員		会計年度任用職員							臨 時 ・ 会 計 年 度 計	合 計
	教育職員						行政職員						教 諭	主 事	非 常 勤 労 務 職 員	非 常 勤 嘱 託 員	非 常 勤 講 師	実 習 支 援 指 導 員	就 労 促 進 専 門 員	ス ク ー ル カ ウ ン セ ラ ー			
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	小 計	事 務 長	主 査	主 任	主 事										小 計		
本 校	男			1	46		47		2	1		3	50	9		4	1		1	1		16	66
	女	1	1		89	2	94	1			1	2	96	16		10					1	27	123
	計	1	1	1	135	2	141	1	2	1	1	5	146	25	0	14	1	0	1	1	1	43	189
分 校	男				7		7					0	7			1						1	8
	女		1		9	1	11					0	11	1	1			1				3	14
	計	0	1	0	16	1	18	0	0	0	0	0	18	1	1	1	0	1	0	0	0	4	22
合計	1	2	1	151	3	1	159	1	2	1	1	5	164	26	1	15	1	1	1	1	1	47	211

(3) 健康管理について

<本校>

ア 教職員数が多いため、円滑に学校運営を進めるためには教職員のメンタルヘルスの充実が必要であると考え、平成25年度から職員安全衛生委員会のテーマを「教職員のメンタルヘルス」とし、教職員の心身の健康管理に取り組んでいる。毎月の各職員の時間外勤務の時間数を調べ、時間外勤務の多い職員に対しては業務の状況や健康状態を確認し、教頭、各学部主事が個別に言葉掛けをしている。

(ア) メンタル面に対する学校としての取り組み

健康、仕事、家庭等に対する心配事等については、教職員人事評価面談等の機会に、管理職が聞き取ったり、相談窓口等を紹介したりしている。

(イ) 感染症等防止への取り組み

職員安全衛生委員会の助言者である校医(内科医)、学校薬剤師に学校職員の職場環境についてお知らせし、助言をいただいている。

イ 静岡県公立学校共済組合が主管する職場の健康づくり支援事業を活用し、6月19日に講師を招聘し教職員の健康の保持増進を目的に講座を行った。今回は体育館にて、足裏健康体操を行いながら心身のリフレッシュを図った。

ウ 平成30年6月より、話し合いの時間と個人の業務の時間を分けて、効率的に業務を遂行できるように工夫している。毎週水曜日及び月末金曜日を定時退勤日と定め、完全実施を目指し取り組んでいる。

さらに勤務時間終了時刻に留守番電話化を実施するなどワーク・ライフ・バランスの向上を図っている。

エ 健康診断については、対象者全員が健診を実施し、必要な検査や医療機関の受診を必ず済ませるよう勧めている。結果については健康管理医に報告し、一人一人の結果について指導助言を受け各自の健康管理に努めている。

<南の丘分校>

ア 職員安全衛生委員会で、メンタルヘルスを含めた教職員の健康状態、業務の偏りや遂行能力について共通理解し、言葉掛けや業務割り振り等の配慮を行っている。また、8月に職場の健康づくり支援事業を活用し、ヨガを行う。パソコン業務で固まりがちな体をリラックスさせる方法を学ぶ研修とした。

イ ワークライフバランスを大切にする意識が高まり、時間外勤務の縮減が進んでいる。さらに業務の重なる調整や会議の効率化を図っている。毎週水曜日を定時退勤日と定め、完全実施を目指し取り組んでいる。

ウ 職員同士の対話を重視し、お互いの気付きを伝え合うことで、チームとして風通しのよい職場づくりを推進している。管理職は部主事や学年主任と情報共有し、職員の心の有り様の把握にも努め、言葉掛けを心掛け、話しやすい職場となるよう努めている。

(4) 教職員の研修について

<本校>

本校は、昭和49年の開校時から「自分から精いっぱいがんばる人を育てるために」を研究主題に挙げ、知的障害教育校としての実践に取り組んできた。当時は、教育課程や教育方法を模索する中で、何が最も重要な研究目標であるかが議論され、その結果、すべてのことに「精いっぱいがんばる」子どもを育てようという結論に達した。『精いっぱいがんばる』ことが、自己の潜在能力を顕在化し、精神的にねばりのある強い人を育てることになる。ひいては学校という集合の有機体を作りあげる（研究紀要1より抜粋）という先人たちの精神は、本校の合言葉である「みんなと仲よく、明るく元気に、せいいっぱいがんばるひと」に受け継がれている。

令和3年度から、学校教育目標『『夢中』と『笑顔』で共生社会を生きるひと』の実現に向けて、研修主題を『『夢中』になって取り組み、できた喜びに『笑顔』輝く授業づくり』と設定した。

目標や目的をもち、最後まで思い切り活動に取り組む姿を「夢中」、学習の中で主体的に様々な力を身に付けたり、発揮したりすることで「できた」を感じる姿を「笑顔」と捉え、せいいっぱいの「夢中」と「笑顔」の姿を引き出す授業づくりを通して、児童生徒一人一人の自立と社会参加の実現に向けた実践を行っていく。

ア 研修の目的

研修主題 「夢中」になって取り組み、できた喜びに「笑顔」輝く授業づくり

研修テーマ 小学部：「分かって『やろう!』と取り組む姿」を目指した授業づくり

中学部：「自ら働き、満足感を得る姿」を目指した授業づくり

高等部：「働く喜びを感じる姿」を目指した授業づくり

イ 研修の内容

(7) 全体研修

- ・全職員で学校全体の研修の取組や方向性について共通理解する。

(イ) 授業づくり

- ・学部ごとの研修テーマに基づき、PDCA サイクルに基づいた授業研究を行う。窓口となる授業は、各教科等を合わせた指導とする。また、学習指導要領の理念を踏まえた目標設定や評価の仕方の充実にも取り組んでいく。

(ウ) 職員研修

- ・教師の専門性を高め、児童生徒理解に基づく「夢中」と「笑顔」の授業づくりを目指した職員研修を実施する。

ウ 研修の方法

(ア) 全体研修

年間3回行い、全職員で学校全体の研修の取組や方向性について共通理解する。

(イ) 授業づくり

a グループ研修

研修主題と授業づくりの重点を踏まえて、学部ごとの研修テーマを設定し、PDCA サイクルに基づいた授業研究を行う。窓口となる授業は、各教科等を合わせた指導とする。

b 授業研究会

各学部で年間2回の授業研究会（うち1回は公開授業研究会とする）を実施する。学部ごと助言者（外部講師）を招聘し、指導助言を授業改善や授業力向上につなげる。授業者は各学部で設定をする。

(ウ) 職員研修

教師の専門性を高め、児童生徒理解に基づく「夢中」と「笑顔」の授業づくりを目指し、以下のような職員研修を実施する。

a 静北版OJT研修

校内においてメンターとメンティを設定したOJT研修を実施する。学校のあらゆる場面で「教師の『技』」（教育技術）を伝え合うことで、専門性の共有や蓄積を図るとともに、「教え、教えられること」により、教員一人一人の力量の向上を目指す。

年次別研修対象者（2、6年次）は、学部主事、学年主任、中堅研対象者といったメンターと、日常的な「技」の伝え合いとともに、研究授業の実践を通して授業力の向上を図る。

b 夏のOJT研修

中堅研対象者を中心とした講師が、校内職員に向けた自身の経験に基づく講座を開講する。

c 年次別研修者を中心とした授業研究

窓口以外の授業研究についても、積極的に教員の参観を促し、授業者及び参観者相互の授業力の向上を図る。

エ 研修の計画

(ア) 授業づくりにおいて、研修主題を受け各学部で研修の内容や方法を検討し、学部内での授業研究（事前・事後研修）を計画的に実施する。

(イ) 各学部で助言者を招き、年間を通じて研修の方向性や授業づくりに関する指導助言を仰ぐ。

(ウ) 年間2回、学部ごと授業研究会を実施し、そのうち1回を公開授業研究会とする。

<南の丘分校>

令和4年度から、高等部で核になる職業科の授業の更なる充実を求め、職業科を研修の窓口にした。学習内容や学習活動、支援方法などについて学年や学部で話し合い、より生徒が自己理解を深め、願う姿に迫る職業科の授業を目指し、授業づくりに取り組んできた。そして、生徒から以下の様子を伺うことができた。

- ・自己理解が大切なのだと気づき始めた。
- ・社会や自分を理解した上で自分に適した進路選択をすることができた。
- ・自分の強みや適性の理解が深まり、自分の苦手、課題を理解している。しかし、それを受け止め、どう行動していくかという視点は弱い。

令和5年度は、生徒が自己理解を深め、主体的に進路決定をしたり、将来の生活などを考えたりすることができるようになるために、「環境設定の工夫」「教材教具の工夫」「教師の関わりの工夫」「活動の工夫」に着目して授業づくりを進めていく。なお、令和4年度に南の丘分校では、「生徒が自己理解を深める姿」として、以下のとおりまとめている。

- ・自分のことを知り、受け止める
- ・自分はどのようなときに力を出せるのかを知る
- ・苦手なことに対しては、どう対処すると良いのかを知る
- ・どのような支援があるとできるのか、生きやすいのかを知る

ア 研修の目的

研修テーマ：自己理解を深める職業科の授業づくり

- 研修の目標：
- ・教師が生徒の思考に沿って、どのようにすると自己理解を深めることができるかという視点で授業づくりを行うことができる。
 - ・生徒が自己理解を深めて主体的に進路決定をしたり、将来の生活などを考えたりすることができる。
 - ・生徒が学んだことを日常生活や他の学習に活かすことができる。

イ 研修の内容

- (ア) 生徒が自己理解を深め、生徒自身が思い描く、願う姿を導くための学習内容や支援方法を検討する。(特に「環境設定の工夫」「教材教具の工夫」「教師の関わりの工夫」「活動の工夫」に着目する。)
- (イ) 生徒のあられから学習内容や学習活動・支援方法の具体的な改善策を検討し、成果を共有する。
- (ウ) 知的障害・発達障害があり、思春期を迎えている生徒の理解と支援の方法について、外部講師を依頼し、研修する。

ウ 研修の計画

- (ア) 月1回、研修内容の(ア) (イ) (ウ) について、研修を進める。
- (イ) 授業研究を年3回実施し、そのうち1回を公開授業研究会とする。
- (ウ) 助言者を招き、生徒理解、自己理解、支援方法や授業づくりに関して研修を行う。

6 防災対策について

<本校>

(1) 令和4年度

ア 防災教育・防災訓練

学校防災安全計画に基づき、以下の日程で防災訓練及び防災教育を実施した。

回	訓練・日時・対象	活動内容および対象別目的
1	【地震・火災】 (通報、初期消火、避難) 時刻予告あり 避難経路確認 4月19日(火) (迅速な避難誘導)	【児童・生徒】 ・安全に自分の命を守る第一次避難の方法を身に付ける。 ・指示に従って安全に避難したり待機したりする。 【全職員】 ・地震火災発生の発見から避難までの連携を迅速に行う。 ・自分の役割を知り、児童・生徒を迅速かつ安全に避難誘導する。
2	【地震・火災・停電・伝達訓練】 (通報、初期消火、避難) 時刻予告あり 5月16日(月) (救出・救護班訓練)	【児童・生徒】 ・地震、停電が発生しても落ち着いて教師の指示に従い、自らの命を守るための安全な行動をとる。 ・指示に従って安全に避難したり待機したりする。 【全職員】 ・放送機器が使えない状況下で、避難体制や避難場所などの情報を口頭で確実に伝達する。 ・地震火災発生時の伝達された情報をもとに、速やかに安全に避難誘導する。
3	【災害伝言ダイヤル171録音再生体験訓練】 6月1日(水) (録音再生体験訓練)	【保護者・全職員】 ・災害用伝言ダイヤル171の体験を行い、録音再生手順を知ることによって有事の際に活用できるようにする。
4	【引き渡し訓練】 (待機指導と引き渡し) 6月15日(水) 小学部1年生、4年生 中学部1年生、高等部3年生の未実施者、転入生 7月1日(金) 小学部3年生、中学部3年生高等部1年生	【児童・生徒】 ・災害発生後は引き渡しまで待機することを知る。 ・引き渡しまで指示に従って落ち着いて待機する。 【関係学年職員】 ・引き渡し手順を確認し円滑な引き渡しに際しての問題点を探る。 ・児童・生徒を敏速かつ安全に待機誘導できるようにする。
5	スクールバス防災訓練 (図上訓練) 7月8日(金)	【小・中学部職員】 ・スクールバス運行ルートや災害時のマニュアル、避難地等について知る。 ・バスとの連絡や児童生徒の引き渡し等について対応策や課題を考える。

6	【地震・建物内避難訓練】 (避難) 時刻予告あり 8月31日(水) 体験を通して学ぶ (非常食体験、防災学習)	【全児童・生徒】 ・地震が発生しても落ち着いて教師の指示に従い、建物内において自らの命を守るための安全な行動をとる。 ・非常食や寝袋体験、防災学習など体験的な学習を通じ、避難生活での実態を知ったり身を守る行動を身に付けたりする。 【全職員】 ・伝達された情報をもとに、建物内の安全な場所へ速やかに安全に避難誘導する。
7	【web171 体験訓練】 8月31日(水) (体験訓練)	【保護者・全職員】 ・web171の体験を行い、手順を知ることによって有事の際に活用できるようにする。
8	スクールバス防災訓練 (登校便) 9月1日(木) 2日(金)	【介助員・運転手】 ・スクールバス乗車中における地震や緊急事態の発生時に、速やかな状況判断や児童生徒の身の安全確保の対応ができるようにする。 【児童・生徒】 ・介助員や運転手の指示に従って身を守る姿勢をとったり、指示に従ってバス内で待機したりする。
9	【地震・抜き打ち避難訓練】 (地震) 日時予告なし 訓練想定(地震など) 2学期中に実施	【全児童・生徒】 ・これまでの訓練で経験したことや学んだことを活かし、日時が予告されない訓練の中でも、教師の指示を聞いて自分の身を守るとともに、落ち着いて避難する。 【全職員】 ・日時が予告されない訓練の中でも状況を的確に把握し、落ち着いた避難誘導やそれぞれの役割の遂行に努める。

イ 職員研修

	日時・対象	活動内容および対象別目的
1	【災害時役割別研修】 4月18日(月)	【対象職員】 ・校内巡視班や救護班など、災害発生時の自分の役割について確認する。
2	【初期消火班研修】 4月15日(金)	・消火器や大型消火器の設置場所を確認する。(校内配置図に記載された場所に置かれているかの確認も) ・消火器の使い方、消火時のポイントや注意事項を確認し、火災発生時の自分の役割について理解する。 ・防火扉の開閉方法を確認する。
3	【職員防災研修】 7月28日(木)	・ハザードマップをもとに本校周辺の地盤を知ることによって、災害時の状況を想定するとともに、災害時の対応について考える。

(2) 令和5年度

ア 防災教育・防災訓練

学校防災安全計画に基づき、以下の日程で防災訓練及び防災教育を実施する。

令和5年度 防災年間計画

回	訓練・日時・対象	活動内容及び対象別目的
1	<p>【地震・火災訓練】 (通報、初期消火、屋外避難)</p> <p>4月21日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前予告あり ・避難経路確認 	<p>【児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に自分の命を守る第一次避難の方法を身に付ける。 ・指示に従って安全に避難したり待機したりする。 <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震火災発生が発見から避難までの連携を迅速に行う。 ・役割を知り、児童生徒を安全かつ速やかに誘導する。
2	<p>【災害伝言ダイヤル171録音再生体験訓練】 (学校が入力した伝言を聞く)</p> <p>6月1日(木)</p>	<p>【保護者・全職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害用伝言ダイヤル171の録音再生手順を知り、有事の際に活用できるようにする。
3	<p>【引き渡し訓練】</p> <p>6月23日(金)</p> <p>対象者：小中学部1年生、 前年度不参加者(小中) 転入生(小中)</p> <p>7月7日(金)</p> <p>対象者：高1年生、 前年度不参加者(高) 転入生(高)</p>	<p>【児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有事の際、待機や引き渡しがあることを知る。 ・指示に従って落ち着いて待機する。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手順に従い、児童生徒を安全に引き受けられる。 <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き渡し手順を確認するとともに課題を明らかにする。 ・児童生徒を安全かつ速やかに待機誘導する。 <p>※中央特支と日程調整ができた場合は合同で実施する。</p>
4	<p>【地震・火災訓練・体験学習】 (通報・初期消火・避難)</p> <p>8月31日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前予告あり ・消防署員等を招聘し、体験的な訓練を実施 ・非常食、寝袋体験 	<p>【児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの命を守るための安全な行動をとる。 ・体験的な学習を通じ、発災時や避難時の様子や適切な行動を知る。 <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な場所へ速やかに安全に避難誘導する。
5	<p>【web171体験訓練】 (入力した伝言を確認する)</p> <p>8月31日(木)</p>	<p>【保護者・教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・web171のメッセージ閲覧方法を知り、有事の際に活用できるようにする。
6	<p>【水害、崖崩れ等訓練】 (屋内垂直避難)</p> <p>10月2日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時刻予告あり 	<p>【児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浸水や崖崩れの発生が危惧される場合の適切な避難の仕方(垂直避難)が分かり安全かつ速やかに避難する。 ・指示に従って安全に避難したり待機したりする。 <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全かつ迅速に垂直避難できるよう誘導する。 ・周囲の状況を踏まえ、適切な行動を考える。

7	【地震・抜き打ち避難訓練】 (地震) 2～3学期中に実施 ・日時予告なし ・発災後の行動も想定する	【児童生徒】 ・これまでの訓練で経験したことや学んだことを活かし、教師の指示を聞いて自分の身を守るとともに、落ち着いて避難する。 【教職員】 ・自身の役割と周囲の状況を踏まえ、最適な動きで考えて行動する。 ・発災後、児童生徒が安全かつ健康に過ごすために必要なことや改善すべきことを明らかにする。
---	--	---

スクールバス防災計画

	日時・対象	活動内容及び対象別目的
1	【スクールバス図上訓練】 7月4日(火)	【小・中学部職員】 ・スクールバス運行ルートや災害時のマニュアル、避難地等について知る。 ・バスとの連絡や児童生徒の引き渡し等について対応策や課題を考える。
2	【スクールバス防災訓練】 9月1日(金)、4日(月)	【介助員・運転手】 ・スクールバス乗車中における地震や緊急事態の発生時に、速やかな状況判断や児童生徒の身の安全確保の対応ができるようにする。 【児童生徒】 ・介助員や運転手の指示に従って身を守る姿勢をとったり、指示に従ってバス内で待機したりする。

※詳細は、スクールバス担当課

職員研修計画

	日時・対象	活動内容及び対象別目的
1	【初期消火班研修】 4月14日(金) 対象者：初期消火班担当 初任者	・消火器や大型消火器の設置場所を確認する。 ・消火器の使い方、消火時のポイントや注意事項を確認し、火災発生時の自分の役割について理解する。 ・防火扉の開閉方法を確認する。
2	【災害時役割別研修】 4月17日(月) 対象者：災害時の各班担当	・校内巡視班や救護班など、災害発生時の自分の役割について確認する。
3	【職員防災研修】 7月27日(木) 午後	・講師を招聘し、児童生徒のとめ置きや福祉避難所の運営について必要な知識を学ぶ。 ・本校の実態を踏まえ、必要な手立てや配慮すべきことなど課題を明らかにし、解決策を見出す。

※その他、シェイクアウト訓練を複数回実施する。

防災学習の実施を推進する期間(防災ウィーク)を必要に応じて設定する。

イ 南海トラフ巨大地震に備えて

『危機管理マニュアル』を基に、緊急時の対応について職員に周知徹底を図っている。

避難訓練の際には、『あおいも』を合言葉に安全に避難できるように訓練を繰り返している。

また、抜き打ちの訓練や放送機器故障による口頭伝達訓練、不明者救出・負傷者救護訓練などの多種多様な訓練を行うことで、職員の危機対応力の向上に努めている。

ウ 引き渡しルートの周知並びに引き渡し訓練の実施

本校は、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された時点で、児童生徒の保護者への引き渡しが計画されている。今年度は、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が発生したことを想定し、予定通り行うことを連絡した上での訓練を実施した。

エ 職員による防災研修並びに防災教育・防災訓練の拡充

保護者に向けて防災に向けた意識の向上と理解の啓発を促進するため、「災害用伝言ダイヤル171の再生訓練」や「Web171の利用体験訓練」、「地域で実施される防災訓練への参加」を呼び掛ける。

<南の丘分校>

(1) 令和4年度

防災訓練・防災教育

以下の日程で防災訓練及び防災教育を実施した。

回	訓練・日時・対象	活動内容・目的
1	【交通安全教室】 4月15日（金） （生徒、駿河総合高校と合同）	<ul style="list-style-type: none"> ・講話 ・交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づける。 ・事故事例に基づいた事故防止や事故に遭ったときの対処方法について学ぶ。
2	【地区別防災集会】 4月22日（金） （生徒、駿河総合高校と合同）	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ごと集合し、顔合わせをする。 ・居住地のハザードマップ調べ（分校生徒のみ） ・危険箇所や避難経路の確認ができる。
3	【教職員救急法講習会】 5月16日（月） （教職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法とAED使用の方法について学び、緊急時に救急車到着まで正しく実施ができる。
4	【地震防災訓練】 6月10日（金） （生徒、駿河総合高校と合同）	<ul style="list-style-type: none"> ・地震発生時を想定し、安全の確保とグラウンドへの避難を行った。 ・地震発生時や「南海トラフ地震に関連する情報」（臨時）が発表された場合に、的確な行動がとれるようにする。 ・防災避難経路の確認を行う。
5	【災害用伝言ダイヤル171訓練 1年生体験】 7月1日（金） （分校1年生）	<ul style="list-style-type: none"> ・録音された伝言の確認とメモ、自分で考えた伝言の録音を行った。 ・災害時に、保護者、家族と連絡を取るための方法を学ぶ。 ・落ち着いて操作するための具体的なやり方を覚え、実践で使える技術を覚える。
6	【自転車点検教室】 7月15日（金） （分校生徒）	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車点検の方法やポイントが分かり、正しい手順で点検をすることができる。 ・自転車に不備があった場合には、自転車店で修

		理する必要性を理解することができる。
7	【総合防災学習Ⅰ】 9月2日(金) (分校生徒)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時、市町から発令される避難情報等について、言葉や意味、避難するタイミングを知ることができる。 ・体験型学習では、グループのメンバーと話し合いながら防災対策を考えたり、防災に関する知識を身に付けたりする。(大雨、洪水、台風又は暴風等を想定)
8	【シェイクアウト訓練】 11月9日(水)～11日(金) (分校生徒)	<ul style="list-style-type: none"> ・地震発生直後の初期動作の確認 ・地震の発生直後に命を守るための初期動作を身に付ける。
9	【火災避難訓練】 11月11日(金) (生徒、駿河総合高校と合同)	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドへの避難、スモークハウス体験、消火体験、救助袋降下体験を行った。 ・火災発生時に的確な行動がとれるようにする。 ・避難経路の確認を行う。 ・生徒の安全かつ迅速な避難の徹底 ・学年別訓練により緊急時の対応について学ぶ。
10	【総合防災学習Ⅱ】 12月19日(月) (分校生徒)	<ul style="list-style-type: none"> ・一日、防災学習での学びを通し、防災に関する知識を深めると共に、避難所運営ゲーム(HUG)、非常食体験、テントやトイレの設営を体験する。 ・地域の防災に係るNPO法人の方を招聘し、災害時、市町から発令される避難情報について言葉や意味、避難するタイミングを知り、居住地区別ごと、避難方法を探った。地域の防災を担う者である自覚を育てた。 ・家庭での災害時の対応について、保護者が生徒と一緒に確認
11	【非常食体験】 12月19日(月) (分校生徒)	<ul style="list-style-type: none"> ・上記10の総合防災学習Ⅱ内で実施 ・各自が用意した非常食を自分で調理し、昼食として体験を行った。 ・非常食の賞味期限をチェックし、補充と入れ替えを行った。
12	【防犯研修】 2月16日(木) (分校生徒、教職員)	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者来校時の危機管理マニュアルを確認するとともに、不審者侵入時の対処法が分かり、生徒が命を守る行動のとり方を学ぶ。

(2) 令和5年度

- ア 駿河総合高等学校と緊急時の対応等について確認を行い、消防計画の内容について相互理解を深める。
- イ 生徒一人一人が、自身の寝袋や3日分の非常食の賞味期限チェックをし、入れ替えた。また、防災倉庫から校舎内に寝袋と非常食の移動を行い、実用的な配置にした。防災倉庫内の備蓄品の点検も行い、水や食料など不足分を買い足していく。
- ウ 日々の学校安全に向け、職員一人一人が常に想像力を持ち、月1回の安全点検を継続していく。現在、委員会の生徒が生活安全に参画しており、普段使用する教室の安全について意識できるようにしていく。
- エ 保護者には、生徒の通学経路の把握と災害時の対応の確認を依頼し、防災意識の向上を行ってきたい。

オ 防災教育・防災訓練

命を意識した防災教育では、自分の身を守る知識・技能の向上を目指す。また、駿河総合高等学校と合同の訓練と分校独自の訓練を実施していく。

地域の防災に係る NPO 法人の方を招聘し、生徒が、災害時に市町から発令される避難情報の言葉の意味や避難するタイミングを知り、居住地区の避難方法を自分で調べる学習を行う。地域の防災を担う者である自覚を育てたい。

カ 不審者等防犯について

警察の方を招聘し、教職員が不審者防犯訓練を行い、対応を学んでいく。

キ 年間計画

回	日時・対象	活動内容
1	4月14日(金) 生徒、駿河総合高校と合同	交通安全教室
2	4月21日(金) 生徒、駿河総合高校と合同	地区別防災集会 (分校生徒のみ 居住地のハザードマップ調べ)
3	5月16日(火) 分校教職員	教職員救急法講習会
4	5月24日(水) 分校生徒	交通安全教室
5	6月1日(木) 分校生徒	171災害用伝言ダイヤル訓練
6	6月9日(金) 生徒、駿河総合高校と合同	地震防災訓練
7	8月31日(金) 分校生徒	第1回総合防災学習
8	11月中	シェイクアウト訓練
9	11月10日(金) 生徒、駿河総合高校と合同	火災避難訓練 スモーク体験、消火体験、避難シューター体験
10	12月19日(火) 分校生徒	第2回総合防災学習
11	12月19日(火) 分校生徒	非常食体験
12	12月中	不審者防犯訓練

7 学校開放について

<本校>

地域に開かれた学校を目指し、学校施設開放委員会を設置し、社会教育活動、文化活動、スポーツ活動等の生涯学習活動振興のため、施設等を開放している。

(1) 令和4年度

施設名	利用種目	利用日数 (日)	利用人数 (人)	利用者負担金 (円)
運動場	ハンディキャップサッカー、フライングディスク	9	329	0

(2) 令和5年度

なし

<南の丘分校>

なし

事務執行の根拠法令調

項 目	根拠法令
学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条、第4条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、 第74条、第76条、第77条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 学校給食法（第1条、第2条、第3条、第4条） 特別支援学校の高等部の学科を定める省令 特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する 法律（第1条、第2条、第3条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学支援委員会規則
学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 特別支援学校への就学奨励に関する法律（第1条、第2条、 第3条） 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費 補助金交付要綱 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補 助金交付要綱

□□□□□

学校施設の概要

1 面積及び所有区分

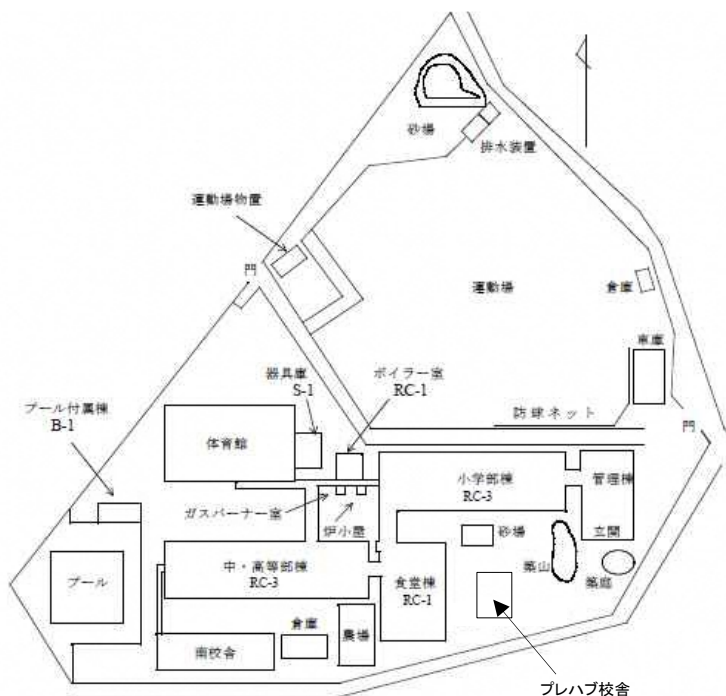
(1) 本 校

(令和5年6月30日現在)

区 分	面 積 ㎡	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 ㎡	国 有 ㎡	市町村有 ㎡	後援会有 ㎡	民 有 ㎡	
学 校 敷 地	18,783.55					18,783.55	
内 訳	校 舎 敷 地	7,563.00				7,563.00	
	運 動 場 敷 地	6,900.00				6,900.00	
	そ の 他 の 敷 地	4,320.55				4,320.55	
校 舎	建 2,758.08 延 6,131.45	2,634.61 5,920.85				123.47 210.60	民有は狭小化 対策に伴うプ レハブ校舎 建123.47㎡ 延210.60㎡ 借受期間令和 4年12月1日～令 和9年2月28日
体 育 館	建 500.25 延 500.25	500.25 500.25					
そ の 他 の 建 物	建 385.61 延 383.59	385.61 383.59					
プ ー ル	1	1					20×15m

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等 (法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	18,783.55 ㎡	6,131.45 ㎡	6,900.00 ㎡
県平均	18,814.78 ㎡	6,914.52 ㎡	5,244.39 ㎡

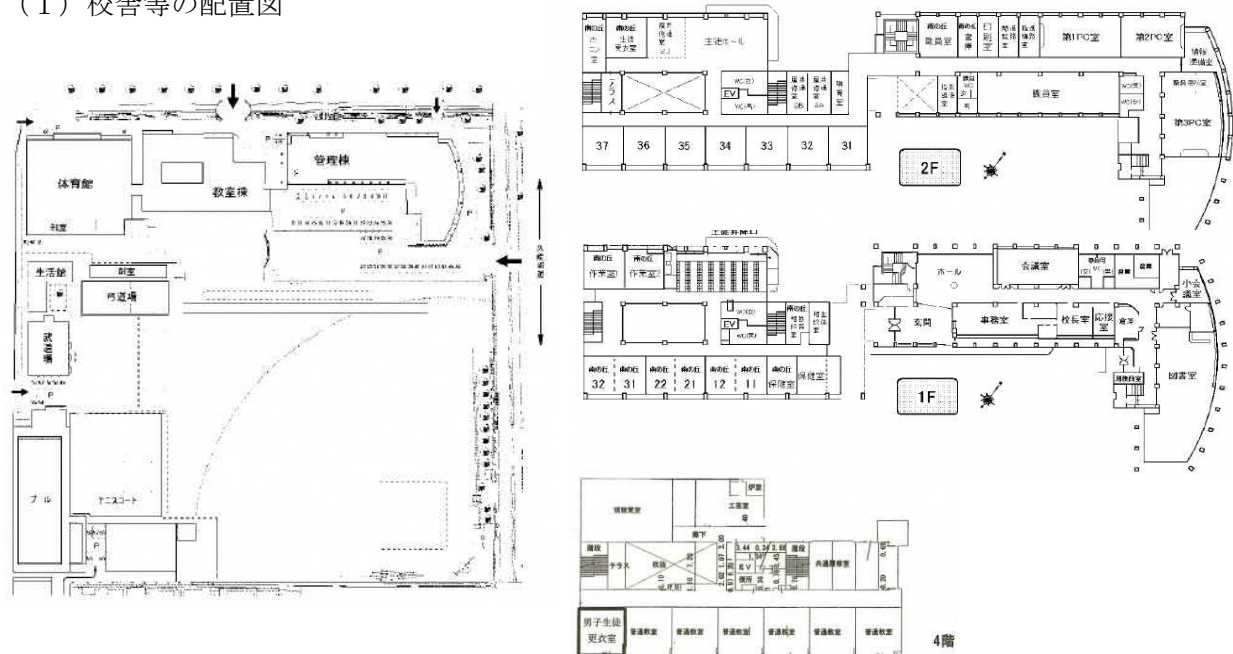
(2)南の丘分校

(令和5年6月30日現在)

区分	面積 ㎡	所有内訳					摘要
		県有 ㎡	国有 ㎡	市町村有 ㎡	後援会有 ㎡	民有 ㎡	
学校敷地	810.69	810.69					駿河総合高等学校使用承認
内訳	校舎敷地						
	運動場敷地						
	その他の敷地	810.69	810.69				
校舎	建	545.39	545.39				駿河総合高等学校使用承認
	延	662.72	662.72				
その他の建物	建	48.54	48.54				駿河総合高等学校使用承認
	延	48.54	48.54				

2 配置・規模等

(1)校舎等の配置図



(2)学校施設の規模等(法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	810.69 ㎡	662.72 ㎡	0 ㎡
県平均			

在籍生徒調

(令和5年6月30日現在)

学 年	学科 区分		小学部			中学部		
			男子	女子	計	男子	女子	計
1 年	入学者		15	7	22	16	7	23
		増加						
		減少						
	現 在		15	7	22	16	7	23
2 年	入学者		18	4	22	19	3	22
		増加	1	1	2			
		減少						
	2年時当初		19	5	24	19	3	22
		増加						
		減少						
	現 在		19	5	24	19	3	22
3 年	入学者		21	6	27	21	14	35
		増加	1		1			
		減少	1		1			
	2年時当初		21	6	27	21	14	35
		増加	1		1			
		減少					1	1
	3年時当初		22	6	28	21	13	34
	増加							
		減少						
	現 在		22	6	28	21	13	34
4 年	入学者		18	4	22			
		増加						
		減少						
	2年時当初		18	4	22			
		増加						
		減少						
	3年時当初		18	4	22			
		増加						
		減少						
	現 在		18	4	22			
5 年	入学者		17	5	22			
		増加						
		減少						
	2年時当初		17	5	22			
		増加						
		減少						
	3年時当初		17	5	22			
		増加						
			減少					
4年時当初		17	5	22				
	増加	2		2				
		減少						
5年時当初		19	5	24				
	増加		1	1				
		減少						
	現 在		19	6	25			
6 年	入学者		14	5	19			
		増加						
		減少						
	2年時当初		14	5	19			
		増加						
		減少		1	1			
	3年時当初		14	4	18			
		増加						
			減少	2	2			
	4年時当初		12	4	16			
		増加						
			減少	1	1			
5年時当初		11	4	15				
	増加	1		1				
		減少						
6年時当初		12	4	16				
	増加							
		減少						
	現 在		12	4	16			
合 計			105	32	137	56	23	79

学 年	学科 区分	高等部										
		本校				南の丘分校				計		
		定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	男子	女子	計
1 年	入学者	48	29	20	49	27	11	6	17	40	26	66
	増加		1		1					1		1
	減少											
	現 在		30	20	50		11	6	17	41	26	67
2 年	入学者	93	51	33	84	18	10	8	18	61	41	102
	増加											
	減少		1	1	2					1	1	2
	2年時当初		50	32	82		10	8	18	60	40	100
	増加											
	減少		1		1					1		1
	現 在		49	32	81		10	8	18	59	40	99
3 年	入学者	48	33	11	44	18	10	8	18	43	19	62
	増加											
	減少											
	2年時当初		33	11	44		10	8	18	43	19	62
	増加											
	減少		1		1					1		1
	3年時当初		32	11	43		10	8	18	42	19	61
	増加		1		1					1		1
	減少											
	現 在		33	11	44		10	8	18	43	19	62
	合 計	189	112	63	175	63	31	22	53	143	85	228

□□□□□

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
学 科 別		高等部 (本校)	高等部 (南の丘)	高等部 (本校)	高等部 (南の丘)	高等部 (本校)	高等部 (南の丘)	高等部 (本校)	高等部 (南の丘)	高等部 (本校)	高等部 (南の丘)
生徒定員 (A)		57	18	66	18	48	18	93	18	48	27
募集者数 (B)		57	18	66	18	48	18	93	18	48	27
志願者数	男	39	21	40	27	33	21	51	17	29	11
	女	13	7	22	11	11	12	33	11	20	6
	計 (C)	52	28	62	38	44	33	84	28	49	17
受検者数	男	39	21	40	27	33	21	51	17	29	11
	女	13	7	21	10	11	12	33	11	20	6
	計 (D)	52	28	61	37	44	33	84	28	49	17
合格者数	男	39	14	40	14	33	14	51	10	29	11
	女	13	4	21	4	11	4	33	8	20	6
	計 (E)	52	18	61	18	44	18	84	18	49	17
志願倍率 (C) / (B)		0.91	1.56	0.94	2.11	0.92	1.83	0.90	1.56	1.02	0.63
受検倍率 (D) / (B)		0.91	1.56	0.92	2.06	0.92	1.83	0.90	1.56	1.02	0.63
入学者数	男	39	14	40	14	33	11	51	10	29	11
	女	13	4	21	4	11	7	33	8	20	6
	計 (F)	52	18	61	18	44	18	84	18	49	17
充足率 (F)/(A)		0.91	1.00	0.92	1.00	0.92	1.00	0.90	1.00	1.02	0.63

□□□□□

卒業生の動向調

区 分		中学部	高 等 部				合計
			本校		南の丘分校		
			本 科	専攻科	本 科	専攻科	
進学者	普通高校						
	特別支援学校高等部	24					24
	高等部専攻科						
	四年制大学						
	短期大学						
	専修・各種学校						
	公共職業訓練校						
	小 計	24					24
施設等 入所者	障害者支援施設等						
	他の施設						
	小 計						
就職者			56		17		73
在宅療養等			4				4
その他							
計		24	60		17		101

□□□□□

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地

(令和5年6月30日現在)(単位:人)

市町村名		静岡市	その他	合計
生徒数	本校	小学部	137	137
		中学部	79	79
		高等部	175	175
		計	391	0
南の丘分校	高等部	53		53
	計	53	0	53
合計		444	0	444
構成比%		100.0%	%	100.0%

(2) 通学方法

(令和5年6月30日現在)(単位:人)

区分	スクールバス通学者(スクールバス停まで)				その他の通学者(自立通学者等)				合計		
	徒歩又は自転車	路線バス等	自家用車等	計	徒歩又は自転車	路線バス等	自家用車等	計	計		
生徒数	本校	小学部	36	1	80	117			20	20	137
		中学部	14	2	51	67	1	8	3	12	79
		高等部				0	29	99	47	175	175
		計	50	3	131	184	30	107	70	207	391
南の丘分校	高等部					29	24		53	53	
	計				0	29	24		53	53	
合計		50	3	131	184	59	131	70	260	444	
構成比%		11.3%	0.7%	29.5%	41.5%	13.3%	29.5%	15.7%	58.5%	100%	

2 部(クラブ)の加入状況

(令和5年6月30日現在)(単位:人)

区分	高等部									
	本校				南の丘分校					
	運動部	文化部	未加入者	計	運動部	文化部	未加入者	計		
部(クラブ)数		4	1		5	2	1		3	
男子	1年	11	1	17	29	8		3	11	
	2年	23	3	24	50	8	2		10	
	3年	15	2	16	33	6	4		10	
	計(A)	49	6	57	112	22	6	3	31	
	構成比	43.8%	5.3%	50.9%	100.0%	71.0%	19.3%	9.7%	100.0%	
女子	1年	6	1	13	20	3	3		6	
	2年	7	3	22	32	5	3		8	
	3年	3	1	7	11	3	4	1	8	
	計(B)	16	5	42	63	11	10	1	22	
	構成比	25.4%	7.9%	66.7%	100.0%	50.0%	45.5%	4.5%	100.0%	
合計		(A+B)	65	11	99	175	33	16	4	53
構成比		37.1%	6.3%	56.6%	100.0%	62.3%	30.2%	7.5%	100.0%	

3 障害別児童生徒数

(令和5年6月30日現在)(単位:人)

区 分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	学級数	
小学部	本校	単一障害	15	9	12	10	14	10	70	14
		重複障害	7	15	16	12	11	6	67	24
	合 計	22	24	28	22	25	16	137	38	
中学部	本校	単一障害	19	13	25				57	12
		重複障害	4	9	9				22	8
	合 計	23	22	34				79	20	
高等部	本校	単一障害	47	78	42				167	19
		重複障害	3	3	2				8	3
	南の丘分校	単一障害	17	18	18				53	6
		重複障害								
	合 計	67	99	62				228	28	

4 起因疾患別児童生徒数

(令和5年6月30日現在)(単位:人)

区 分		知的障害のみ	自閉症スペクトラム障害を伴う知的障害	ダウン症候群などの染色体異常を伴う知的障害	てんかんなどの脳性疾患を伴う知的障害	その他の障害を伴う知的障害	合計
本 校	小学部	11	81	35	5	5	137
	中学部	18	37	17	3	4	79
	高等部	71	65	23	10	6	175
	計	100	183	75	18	15	391
南の丘分校	高等部	25	10	1		17	53
	計	25	10	1	0	17	53
計		125	193	76	18	32	444

□□□□□

職 員 調

(令和5年6月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	原田 満紀		□□□	□□□□	□□□□□
2	副校長	植田 記久乃		□□□	□□□□	□□□□□
3	教頭	坂部 亨		□□□	□□□□	□□□□□
4	事務長	滝 静子		□□□	□□□□	□□□□□
5	教諭	橋田 雅子	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
6	教諭	村上 夏子	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
7	教諭	田中 礼子	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
8	教諭	大橋 美智代	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
9	教諭	杉本 友紀乃	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
10	教諭	馬場 政道	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
11	教諭	小久江 直子	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
12	教諭	川瀬 正博	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
13	教諭	鈴木 規正	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
14	教諭	西村 秀美	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
15	教諭	影山 雅之	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
16	教諭	瀧下 睦	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
17	教諭	渡邊 大志	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
18	教諭	長谷川 実穂	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
19	教諭	新海 絵梨	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
20	教諭	遠藤 和美	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
21	教諭	佐野 日出美	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
22	教諭	北川 弥生	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
23	教諭	原川 麗子	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
24	教諭	海野 好章	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
25	教諭	後藤 由加	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
26	教諭	原口 りさ	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
27	教諭	青山 和幸	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
28	教諭	名坂 佳代子	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
29	教諭	大石 裕美	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
30	教諭	森切 和彦	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
31	教諭	山本 義男	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
32	教諭	北野 朝美	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
33	教諭	舟金 圭子	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
34	教諭	佐野 七彩	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
35	教諭	久 しづか	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
36	教諭	稲木 尚美	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
37	教諭	山尾 千尋	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
38	教諭	稲葉 総司	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
39	教諭	久米 彩奈	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
40	教諭	長谷川 奈緒	高等部	□□□	□□□□	□□□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
41	教諭	高橋 恵美子	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
42	教諭	村松 瑠衣	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
43	教諭	池谷 涼日	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
44	教諭	海野 絵里佳	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
45	教諭	濱口 円香	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
46	教諭	南 琴美	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
47	教諭	若井 至人	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
48	教諭	渡辺 裕記	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
49	教諭	黒柳 千明	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
50	教諭	安藤 ふみ	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
51	教諭	南條 祐希	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
52	教諭	成岡 美夏	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
53	教諭	秋山 こなみ	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
54	教諭	桂本 健志	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
55	教諭	望野 亜里砂	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
56	教諭	山下 弘実	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
57	教諭	江川 佳南枝	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
58	教諭	中川 優季	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
59	教諭	吉村 順子	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
60	教諭	高岡 由紀子	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
61	教諭	岩堀 秀人	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
62	教諭	郡 哲也	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
63	教諭	矢島 友梨香	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
64	教諭	深澤 雄紀	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
65	教諭	岡島 祐美	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
66	教諭	柴田 香	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
67	教諭	川瀬 聡子	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
68	教諭	山口 夏絵	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
69	教諭	牧野 麻衣	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
70	教諭	杉山 奈実子	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
71	教諭	池谷 暢繁	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
72	教諭	井林 淳子	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
73	教諭	杉山 弘己	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
74	教諭	熊谷 麻未	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
75	教諭	大内 友絵	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
76	教諭	鈴木 薫	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
77	教諭	栗田 恭兵	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
78	教諭	竹内 耕太	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
79	教諭	中澤 美紀子	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
80	教諭	西村 れお	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
81	教諭	青木 たつえ	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
82	教諭	山口 美咲	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
83	教諭	尾崎 あゆみ	小学部	□□□	□□□□	□□□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
84	教諭	中舘 明日香	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
85	教諭	杉山 千紗	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
86	教諭	坂下 早紀	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
87	教諭	鈴木 早恵子	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
88	教諭	勝又 有花	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
89	教諭	稲熊 克則	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
90	教諭	喜多 健一郎	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
91	教諭	南條 育乃	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
92	教諭	鈴木 由美	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
93	教諭	土橋 美香	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
94	教諭	横山 佳織	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
95	教諭	川嶋 円香	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
96	教諭	三津山 夏海	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
97	教諭	金子 加奈子	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
98	教諭	植松 準	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
99	教諭	平賀 大地	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
100	教諭	磯中 真子	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
101	教諭	藤本 吏歩	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
102	教諭	紅林 剛士	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
103	教諭	村田 綾乃	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
104	教諭	望月 祐樹	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
105	教諭	望月 進介	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
106	教諭	山本 眞鈴	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
107	教諭	高津 幸	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
108	教諭	磯部 紅里	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
109	教諭	杉山 佑季	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
110	教諭	片岡 香	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
111	教諭	藤野 萌	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
112	教諭	木村 匡佑	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
113	教諭	鈴木 茂伸	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
114	教諭	藤田 尚哉	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
115	教諭	大石 俊	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
116	教諭	伊藤 有希子	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
117	教諭	渡部 哲夫	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
118	教諭	長谷川 知愛	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
119	教諭	川口 紗采	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
120	教諭	篠崎 文	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
121	教諭	高橋 正記	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
122	教諭	横山 聖子	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
123	教諭	深見 孝太	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
124	教諭	本杉 志穂	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
125	教諭	大石 紗也賀	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
126	教諭	伊藤 雅隆	高等部	□□□	□□□□	□□□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
127	教諭	紅林 拓真	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
128	教諭	宮本 遼	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
129	教諭	羽山 佳那美	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
130	教諭	藤巻 駿之介	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
131	教諭	滝田 ゆうか	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
132	教諭	田村 伸輔	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
133	教諭	清水 敦広	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
134	教諭	樋口 佳汰	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
135	教諭	片瀬 未優	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
136	教諭	川井 風初	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
137	教諭	佐野 道造	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
138	教諭	村上 佳奈	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
139	教諭	新崎 隆史	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
140	養護教諭	山崎 聡美	養護	□□□	□□□□	□□□□□
141	養護教諭	木根 由倫美	養護	□□□	□□□□	□□□□□
142	栄養教諭	滝浪 永梨	給食	□□□	□□□□	□□□□□
143	主査	藤川 真也	事務	□□□	□□□□	□□□□□
144	主査	後藤 俊裕	事務	□□□	□□□□	□□□□□
145	主任	中野 浩好	事務	□□□	□□□□	□□□□□
146	主事	西川 千聖	事務	□□□	□□□□	□□□□□

南の丘分校

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
147	副校長	川崎 みどり		□□□	□□□□	□□□□□
148	教諭	森井 香	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
149	教諭	川島 健児	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
150	教諭	山本 裕子	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
151	教諭	田中 裕子	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
152	教諭	鈴木 雅義	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
153	教諭	小熊 亜有美	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
154	教諭	浅井 裕代	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
155	教諭	小町 真史	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
156	教諭	小崎 結梨亜	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
157	教諭	高橋 慎	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
158	教諭	上野 日奈子	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
159	教諭	望月 広大	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
160	教諭	中村 伸平	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
161	教諭	古川 里菜	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
162	教諭	熊川 堅清	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
163	教諭	吉田 美波	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
164	養護教諭	天野 圭子	養護	□□□	□□□□	□□□□□
	合計	164人		平均年数	2年8月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(任)	伏見 健司	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
2	教諭(任)	丹所 裕可	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
3	教諭(任)	加瀬澤 美郁子	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
4	教諭(任)	森田 博子	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
5	教諭(任)	網取 富子	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
6	教諭(任)	海野 貴裕	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
7	教諭(臨)	伊柳 直美	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
8	教諭(臨)	左右田 一矢	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
9	教諭(臨)	府川 良平	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
10	教諭(臨)	角田 航	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
11	教諭(臨)	吉田 萌	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
12	教諭(任)	井垣 晶子	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
13	教諭(臨)	稲葉 友美	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
14	教諭(臨)	篠塚 ユウタ	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
15	教諭(臨)	日野 由佳	中学部	□□□	□□□□	□□□□□
16	教諭(臨)	寺田 剛基	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
17	教諭(臨)	高橋 敦子	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
18	教諭(臨)	伊藤 夢歩	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
19	教諭(臨)	佐々木 美樹	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
20	教諭(任)	毎熊 洋子	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
21	教諭(任)	渡邊 雅恵	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
22	教諭(任)	勝又 龍佑	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
23	教諭(任)	川原 直子	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
24	教諭(任)	佐野 友彦	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
25	教諭(任)	杉山 陽子	小学部	□□□	□□□□	□□□□□
26	主事(臨)	佐藤 友安子	事務	□□□	□□□□	□□□□□
27	教諭(臨)	高岡 礼奈	高等部	□□□	□□□□	□□□□□
28	非常勤労務職員	渡邊 次男	用務	□□□	□□□□	□□□□□
29	非常勤労務職員	櫻井 俊幸	用務	□□□	□□□□	
30	非常勤労務職員	上野 繭子	用務	□□□	□□□□	
31	非常勤労務職員	柴田 一郎	スクールバス添乗	□□□	□□□□	
32	非常勤労務職員	松下 典子	スクールバス添乗	□□□	□□□□	
33	非常勤労務職員	杉山 有美	スクールバス添乗	□□□	□□□□	
34	非常勤労務職員	入江 美和	スクールバス添乗	□□□	□□□□	
35	非常勤労務職員	杉浦 光子	スクールバス添乗	□□□	□□□□	
36	非常勤労務職員	大石 恵美子	スクールバス添乗	□□□	□□□□	
37	非常勤労務職員	村上 静子	スクールバス添乗	□□□	□□□□	
38	非常勤労務職員	服部 ひろ美	スクールバス添乗	□□□	□□□□	
39	医療的ケア看護職員 非常勤労務職員	松村 千賀子	看護・スクールバス添乗	□□□	□□□□	
40	非常勤労務職員	大木 謙治	新型コロナ対策業務スタッフ	□□□	□□□□	
41	非常勤労務職員	豊泉 義子	新型コロナ対策業務スタッフ	□□□	□□□□	
42	非常勤労務職員	原田 喜久司	新型コロナ対策業務スタッフ	□□□	□□□□	
43	実習支援指導員	吉田 幸弘		□□□	□□□□	
44	非常勤嘱託員	勝山 皓介	実習支援員	□□□	□□□□	

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
45	就労促進専門員	吉村 史朗		□□□	□□□□	
46	スクールカウンセラー	茂泉 知代		□□□	□□□□	
47	非常勤講師	植松 友乃	社会人活用	□□□	□□□□	□□□□□
48	学校医 健康管理医	奥村 良法	内科	□□□	□□□□	□□□□□
49	学校医	羅 錦營	眼科	□□□	□□□□	
50	学校医	大久保 満男	歯科	□□□	□□□□	
51	学校医	小津 龍一朗	耳鼻科	□□□	□□□□	
52	学校薬剤師	石川 好紀		□□□	□□□□	
53	学校医	伊藤 一之	精神科	□□□	□□□□	□□□□□
54	学校医	谷口 秀隆	眼科	□□□	□□□□	□□□□□
55	学校医	遠山 孝之	歯科	□□□	□□□□	□□□□□
56	学校医	長島 泰行	耳鼻科	□□□	□□□□	□□□□□
57	学校薬剤師	石川 友康		□□□	□□□□	□□□□□
	計	57人				

□□□□□

職 員 の 年 齢 調

(令和5年6月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20 歳未満	0 人	
20 歳以上 30 歳未満	29	
30 歳以上 40 歳未満	63	
40 歳以上 50 歳未満	46	
50 歳以上 56 歳未満	13	
56 歳以上 61 歳未満	9	再任用1人
61 歳以上	4	再任用
計	164	平均年齢 39.2歳

□□□□□

健康管理

1 令和4年度受診状況

区 分	内 容				
受 診 状 況	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受診者数</td> <td style="text-align: right;">164人</td> </tr> <tr> <td>職員数</td> <td style="text-align: right;">169人</td> </tr> </table>	受診者数	164人	職員数	169人
受診者数	164人				
職員数	169人				
受 診 率	100%				
県平均受診率	100%				

(1) 未受診の理由
□□□□□ 5人

2 令和5年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		2(2)人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行っており症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	43(43)人
D 2		要経過観察	33(33)人
D 3		医 療 不 要	80(80)人
区 分 者 計			158(158)人
未区分者数			6人
合 計			164(158)人

(1) 管理区分A～C 2該当者
に対する措置状況
□□□□□

(2) 未区分の理由
□□□□□ 5人
□□□□□ 1人
□□□□□ 0人
□□□□□ 0人

□□□□□

保管現金有高調

(令和5年度)
(令和5年6月30日現在)

現金保管者	区 分	金 額 (円)
静岡北特別支援学校 校長	有料駐車場代継続的資金前渡	5,000

□□□□□

預 金 調

(令和5年6月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
静岡銀行 流通センター支店	無利息型 普通預金	0205127	静岡県立静岡北特別支援学校 資金前渡者 原田 満紀	25,000	給料・交際費
静岡銀行 流通センター支店	無利息型 普通預金	0205092	(自振口)静岡県立静岡北特別支 援学校 資金前渡者 原田 満紀	0	電話料・水道 料
静岡銀行 流通センター支店	無利息型 普通預金	0205105	静岡県立静岡北特別支援学校 奨励費代理受領者 原田 満紀	0	就学奨励費
残高合計				25,000	

□□□□□

郵券等受払調

(令和5年6月30日現在)

(単位:枚、円)

区分	種類	令和4年度						令和5年度						摘要		
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引 現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
本校	1円券	15	15	0	0	6	6	9	9	0	0	0	0	9	9	通信用
	2円券	31	62	120	240	92	184	59	118	0	0	0	0	59	118	
	10円券	0	0	50	500	9	90	41	410	0	0	4	40	37	370	
	50円券	4	200	0	0	2	100	2	100	0	0	1	50	1	50	
	84円券	2	168	270	22,680	237	19,908	35	2,940	200	16,800	70	5,880	165	13,860	
	92円券	48	4,416	0	0	2	184	46	4,232	0	0	0	0	46	4,232	
	100円券	4	400	250	25,000	164	16,400	90	9,000	0	0	5	500	85	8,500	
	往復 はがき	1	126	0	0	1	126	0	0	0	0	0	0	0	0	
南の丘分校	1円券	6	6	0	0	0	0	6	6	0	0	0	0	6	6	通信用
	2円券	2	4	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	2	4	
	10円券	102	1,020	0	0	2	20	100	1,000	0	0	0	0	100	1,000	
	50円券	2	100	0	0	0	0	2	100	0	0	0	0	2	100	
	84円券	27	2,268	100	8,400	92	7,728	35	2,940	100	8,400	36	3,024	99	8,316	
	100円券	59	5,900	0	0	1	100	58	5,800	0	0	0	0	58	5,800	
計			14,685		56,820		44,846		26,659		25,200		9,494		42,365	

□□□□□

材 料 品 受 払 調

(令和5年6月30日現在)

区分 品名	令和4年度						令和5年度						差引現在高 数量 金額	摘要	
	繰越		受入		払出		繰越		受入		払出				
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額			
桧棒材	0	0	975	30,030	975	30,030	0	0	0	0	0	0	0	0	
チーク	0	0	975	51,480	975	51,480	0	0	0	0	0	0	0	0	
シナ合板	0	0	4	11,176	4	11,176	0	0	0	0	0	0	0	0	
牛革タンロー	0	0	1	43,360	1	43,360	0	0	1	35,310	1	35,310	0	0	
エンボスレザー	0	0	1	38,076	1	38,076	0	0	1	38,744	1	38,744	0	0	
牛革ヴィンセント	0	0	0	0	0	0	0	0	1	31,020	1	31,020	0	0	
スムーズオイル	0	0	2	53,966	2	53,966	0	0	0	0	0	0	0	0	
ガラス	0	0	7	20,000	7	20,000	0	0	6	19,998	6	19,998	0	0	
計	0	0	1,965	248,088	1,965	248,088	0	0	9	125,072	9	125,072	0	0	

□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)		
					3年度	4年度	左のうち、3年度からの繰越額分
(12) 委託料	01一般	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費	/	401,500	/
	01一般	11教育費	07特別支援学校費	02特別支援学校管理費		81,611,080	
	01一般	11教育費	08学校教育費	04健康体育費		17,203,538	
計					0	99,216,118	0
(14) 工事費	01一般	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費	/	377,300	/
計					0	377,300	0
(16) 公有財産購入費					/		/
計					0	0	0
(17) 備品購入費	01一般	11教育費	07特別支援学校費	02特別支援学校管理費	/	2,044,450	/
計					0	2,044,450	0
(18) 負担金、補助金及び交付金	01一般	11教育費	07特別支援学校費	02特別支援学校管理費	/	77,500	/
計					0	77,500	0
(21) 補償、補填及び賠償金					/		/
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和5年6月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						左のうち、4年度からの繰越額分
(12) 委託料	01一般	11教育費	07特別支援学校費	02特別支援学校管理費	6,291,474	/
	01一般	11教育費	08学校教育費	04健康体育費	2,850,661	
計					9,142,135	0
(14) 工 事 請 負 費						/
計					0	0
(16) 公有財産 購 入 費						/
計					0	0
(17) 備 品 購 入 費	01一般	11教育費	07特別支援学校費	02特別支援学校管理費	0	/
計					0	0
(18) 負担金、 補助金及 び交付金	01一般	11教育費	07特別支援学校費	02特別支援学校管理費	8,100	/
計					8,100	0
(21) 補償、補填 及び賠償金						/
計					0	0

委託料に関する調

(令和4年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
	(事務関係)		円	円	円	円			円			
1	給食業務	(株)アース静岡	50,157,800	49,500,000	0	49,500,000	不随	2. 8. 1 ～ 5. 7. 31	4. 5. 31 4. 6. 30 4. 7. 29 4. 8. 31 4. 9. 30 4. 10. 31 4. 11. 30 4. 12. 23 5. 1. 31 5. 2. 28 5. 3. 30 5. 4. 28 小計	(27,500,000) 1,375,000 1,375,000 1,375,000 1,375,000 1,375,000 1,375,000 1,375,000 1,375,000 1,375,000 1,375,000 1,375,000 1,375,000 1,375,000 1,375,000 16,500,000	本校給食調理・配膳	2長期
2	通学バス輸送業務	静鉄ジョイステップバス(株)	149,898,100	125,031,830	0	125,031,830	一般	3. 4. 1 ～ 6. 3. 31	4. 5. 31 4. 6. 30 4. 7. 29 4. 8. 30 4. 9. 30 4. 10. 31 4. 11. 30 4. 12. 23 5. 1. 31 5. 2. 28 5. 3. 30 5. 4. 24 小計	(49,534,134) 3,145,737 3,145,737 3,145,737 3,145,737 3,145,737 3,145,737 3,145,737 3,145,737 3,145,737 3,145,737 3,145,737 3,145,737 3,145,737 3,145,737 37,748,844	通学児童生徒の輸送	3長期
3	通学バス輸送業務	静鉄ジョイステップバス(株)	15,917,880	15,917,880	0	15,917,880	随契	4. 4. 7 ～ 4. 7. 29	4. 5. 31 4. 6. 30 4. 7. 29 4. 8. 30 小計	3,979,470 3,979,470 3,979,470 3,979,470 15,917,880	通学児童生徒の輸送	随契2号(競争不適)
4	通学バス輸送業務	静鉄ジョイステップバス(株)	16,767,190	16,767,190	0	16,767,190	随契	4. 8. 29 ～ 4. 12. 28	4. 9. 30 4. 10. 31 4. 11. 30 4. 12. 23 5. 1. 31 小計	3,353,438 3,353,438 3,353,438 3,353,438 3,353,438 16,767,190	通学児童生徒の輸送	随契2号(競争不適)
5	通学バス輸送業務	静鉄ジョイステップバス(株)	10,611,920	10,611,920	0	10,611,920	随契	5. 1. 6 ～ 5. 3. 31	5. 2. 28 5. 3. 30 5. 4. 24 小計	3,537,306 3,537,306 3,537,308 10,611,920	通学児童生徒の輸送	随契2号(競争不適)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
6	給食可燃物収集運搬処分業務	㈱荒井産業	運搬料 静岡視覚特別支援 1,200円/回 中央特別支援 1,400円/回 静岡北特別支援 1,400円/回 処分料 10円/kg	運搬料 静岡視覚特別支援 1,100円/回 中央特別支援 1,300円/回 静岡北特別支援 1,300円/回 処分料 10円/kg	0	計	随契	4. 4. 6 ～ 5. 3. 31	4. 5. 31	50,699	本校外2校 給食可燃物収集・運搬・処分業務	随契1号 (少額) 単価契約 一括契約校： 静岡視覚特別支援、中央特別支援
									4. 6. 30	58,135		
									4. 7. 29	68,585		
									4. 8. 31	56,386		
									4. 9. 30	5,753		
									4. 10. 31	67,804		
									4. 11. 30	67,815		
									4. 12. 23	60,082		
									5. 1. 31	55,209		
									5. 2. 28	52,096		
									5. 3. 30	51,469		
5. 4. 28	41,305											
小計	635,338											
7	グリストラップ 清掃及び汚泥収集運搬業務	静岡ライフ クリーン(株)	48,400	48,400	0	48,400	随契	4. 5. 2 ～ 5. 3. 31	4. 9. 8 5. 3. 10 小計 48,400	グリストラップ 清掃及び汚泥の収集運搬	随契1号 (少額)	
8	グリストラップ 汚泥処分業務	日興 サービス(株)	19,800	19,800	0	19,800	随契	4. 5. 2 ～ 5. 3. 31	4. 9. 8 5. 3. 10 小計 19,800	グリストラップ 汚泥処分	随契1号 (少額)	
9	産業廃棄物処理	丸徳商事(有)	320,100	240,900	0	240,900	随契	4. 4. 7 ～ 4. 7. 6	4. 5. 26 小計 240,900	本校に係る不燃物処分	随契1号 (少額)	
10	産業廃棄物処理	㈱静岡資源	28,600	26,686	0	26,686	随契	4. 5. 18 ～ 4. 8. 15	4. 6. 13 小計 26,686	本校に係る蛍光灯・乾電池処分	随契1号 (少額)	
11	産業廃棄物処理	㈱総合美装ワタナベ	99,330	99,330	0	99,330	随契	4. 5. 25 ～ 4. 8. 24	4. 6. 17 小計 99,330	本校に係る不燃物処分	随契1号 (少額)	
12	産業廃棄物処理	㈱総合美装ワタナベ	99,330	99,330	0	99,330	随契	4. 8. 1 ～ 4. 10. 31	4. 8. 26 小計 99,330	本校に係る不燃物処分	随契1号 (少額)	
13	産業廃棄物処理	丸徳商事(有)	106,700	99,000	0	99,000	随契	4. 12. 12 ～ 5. 3. 10	5. 2. 8 小計 99,000	本校に係る不燃物処分	随契1号 (少額)	
14	物品移動業務	デュプロ販売(株)	132,000	104,500	0	104,500	随契	4. 12. 1 ～ 5. 2. 28	5. 1. 20 小計 104,500	物品移動業務	随契1号 (少額)	
	事務関係計	14件							(77,034,134) 98,919,118			
	(工事関係)											
1	ボイラー室アスベスト及びPCB他含有調査業務	㈱サイエンス	338,800	297,000	0	297,000	随契	4. 9. 21 ～ 4. 12. 2	4. 12. 9 小計 297,000	アスベスト、PCB他含有調査業務	随契1号 (少額)	
	工事関係計	1件							297,000			
	合計	15件							99,216,118			

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
参考1	警備業務(本校・南の丘)	エステートム(株)		11,088,000	0	11,088,000		1. 10. 1 ~ 6. 9. 30			本校及び南の丘分校外12校警備業務	駿河総合高
参考2	自家用電気工作物保安管理業務	山崎電気保安管理事務所		1,584,000	0	1,584,000		4. 4. 1 ~ 5. 3. 31			本校外4校自家用電気工作物保安管理業務	静岡城北高
参考3	消防用設備等保守点検業務	旭産業(株)		5,302,000	0	5,302,000		4. 4. 1 ~ 5. 3. 31			本校外4校消防用設備等保守点検業務	中央特別支援学校
参考4	がストポンプ点検業務	(株)ユアーズ静岡		1,969,000	0	1,969,000		4. 5. 27 ~ 5. 3. 31			本校外8校がストポンプ定期点検業務	静岡高
参考5	プール浄化装置保守点検業務	大学産業(株)		746,900	0	746,900		4. 4. 18 ~ 4. 11. 18			本校外13校プール浄化装置設備保守点検業務	静岡西高
参考6	防鼠防虫業務	(株)総合美装ワタナベ		258,500	0	258,500		4. 7. 1 ~ 5. 3. 31			本校外4校防鼠・防虫業務	清水特別支援学校
参考7	可燃物収集運搬処理業務(本校・南の丘)	(株)静岡清掃企業		運搬料 13,530円/回 処分料 11.0円/kg	0	運搬料 13,530円/回 処分料 11.0円/kg		4. 4. 1 ~ 5. 3. 31			本校及び南の丘分校外13校可燃物収集・運搬・処理業務	静岡農高 単価契約
参考8	建築基準法第12条に基づく定期点検業務	(有)コーセイ産業		5,108,950	0	5,108,950		4. 9. 9 ~ 5. 1. 31			本校外12校建築基準法第12条に基づく建築及び建築設備定期点検業務	静岡商業高
	計	8件										

委託料に関する調

(令和5年度)
(令和5年6月30日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
	(事務関係)		円	円	円	円			円			
1	給食業務	(株)エアーズ静岡	50,157,800	49,500,000	0	49,500,000	不随	2. 8. 1 ～ 5. 7. 31	5. 5. 31 5. 6. 30 小計	(44,000,000) 1,375,000 1,375,000 2,750,000	本校給食調理・配膳	2長期
2	通学バス輸送業務	静鉄ジョイステツプバス(株)	149,898,100	125,031,830	0	125,031,830	一般	3. 4. 1 ～ 6. 3. 31	5. 5. 31 5. 6. 30 小計	(87,282,978) 3,145,737 3,145,737 6,291,474	通学児童生徒の輸送	3長期
3	給食可燃物収集運搬処分業務	(株)荒井産業	運搬料 静岡視覚特別支援 1,200円/回 中央特別支援 1,400円/回 静岡北特別支援 1,400円/回 処分料 10円/kg	運搬料 静岡視覚特別支援 1,100円/回 中央特別支援 1,300円/回 静岡北特別支援 1,400円/回 処分料 10円/kg	0	運搬料 静岡視覚特別支援 1,100円/回 中央特別支援 1,300円/回 静岡北特別支援 1,400円/回 処分料 10円/kg	随契	5. 4. 10 ～ 6. 3. 29	5. 5. 31 5. 6. 30 小計	37,345 63,316 100,661	本校外2校給食可燃物収集・運搬・処分業務	随契1号(少額)単価契約 一括契約校：静岡視覚特別支援、中央特別支援
	事務関係計	3件								(131,282,978) 9,142,135		
	(工事関係)											
	工事関係計	0件								0		
	合計	3件								(131,282,978) 9,142,135		

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
参考1	警備業務(本校・南の丘)	エスピー・トーム(株)		11,088,000	0	11,088,000		1. 10. 1 ～ 6. 9. 30			本校及び南の丘分校外12校警備業務	駿河総合高
参考2	自家用電気工作物保安管理業務	高橋電気保安管理事務所		913,000	0	913,000		5. 4. 1 ～ 6. 3. 31			本校外1校自家用電気工作物保安管理業務	静岡東高
参考3	消防用設備等保守点検業務	旭産業(株)		4,070,000	0	4,070,000		5. 4. 1 ～ 6. 3. 31			本校外4校消防用設備等保守点検業務	中央特別支援学校
参考4	ガスヒートポンプ定期点検業務	(株)ユアーズ静岡		2,145,000	0	2,145,000		5. 5. 24 ～ 6. 3. 31			本校外8校ガスヒートポンプ定期点検業務	静岡高
参考5	可燃物収集運搬処理業務(本校・南の丘)	(株)静岡清掃企業		運搬料 14,300円/回 処分料 11.0円/kg	0	運搬料 14,300円/回 処分料 11.0円/kg		5. 4. 1 ～ 6. 3. 31			本校及び南の丘分校外13校可燃物収集・運搬・処理業務	静岡農高単価契約
	計	5件										

□□□□□

負担金支出調

(令和4年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
					円	
1	特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会受講料	公益財団法人 日本産業廃棄物処理 振興センター	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第8項	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	13,200	4.5.20
2	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会規約	知的障害教育の振興、教育の充実・改善の推進、教育上の調査・研究	5,000	4.7.11
3	全国特別支援学校知的障害教育校長会会費	全国特別支援学校知的障害教育校長会	全国特別支援学校知的障害教育校長会会則	知的障害教育の振興、学校管理経営に関する調査研究	11,000	4.7.15
4	甲種防火管理者に関する新規講習会受講料	静岡市防災協会	消防法第8条1項	甲種防火管理新規講習会	5,100	4.9.26
5	安全運転管理者に関する講習会受講料	一般社団法人 静岡県安全運転管理協会	道路交通法第74条の3第1項	安全運転管理者講習会	4,500	4.11.18
6	自衛消防業務に関する講習会受講料	一般財団法人 日本消防設備安全センター	消防法第8条の2の5	自衛消防業務新規講習会	38,700	5.2.22
計		6件	/	/	77,500	/

□□□□□

負担金支出調

(令和5年度)

(令和5年6月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
					円	
1	甲種防火管理者に関する新規講習会受講料	静岡市防災協会	消防法第8条1項	甲種防火管理新規講習会	5,100	5.5.10
2	全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会参加費	全国特別支援学校知的障害教育校長研究 大会北海道地区研究 協議会大会実行委員長	全国特別支援学校知的障害教育校長研究 大会要項	全国特別支援学校知的障害教育校長研究 大会	3,000	5.6.30
計		2件	/	/	8,100	/

□□□□□

建 築 工

整理 番号	予 算 科 目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変 更 増 減 額
1	教育管理費	令和4年度静岡県立静岡北特別支援学校厨房絶縁不良修繕工事	静岡市葵区漆山地内	605,000	377,300	0
		計	1 件	605,000	377,300	0

(令和5年度 工事なし)

事 調

(令和4年度)

額	契約締結方法	受注者	着手 完 成 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
計							
377,300	随契	城北電機工業(有)	5.1.23 ～ 5.2.20	377,300	厨房休憩室内の分電盤のブレーカーを増設、電線引き直しを行い、防水コンセント2個取替。	—	令達 R5.1.5 支払 R5.3.7 随契1号(少額)
377,300				377,300			

公 有 財 産 調

(令和4年度)

区 分	4年3月31日現在		増		減		5年3月31日現在		摘 要
	数量又は面積	台 帳 格	数量又は面積	台 帳 格	数量又は面積	台 帳 格	数量又は面積	台 帳 格	
行政財産	/	千円 177,844	/	千円 0	/	千円 20,193	/	千円 157,651	
立木竹	70本	589					70本	589	
建 物	$\frac{3,520.47}{6,804.69}$	41,862				8,906	$\frac{3,520.47}{6,804.69}$	32,956	
工作物	99個	135,393				11,287	99個	124,106	
公有財産に 準ずるもの	/	827	/		/		/	827	
電話加入権	13件	827					13件	827	

「令和5年度中増減なし」

□□□□□

借地借家等調

(令和5年6月30日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所 在 地	地 目		数 量 又 は 面 積 ㎡	借 料		契 約 期 間	所 有 者 又 は 契 約 者 氏 名	用 途
				台 帳	現 況		単 価	年 額			
1	土 地	学 校 敷 地	静 岡 市 葵 区 漆 山 796	田 畑	学 校 用 地	18,783.55	0	0	31. 4. 1 ～ 6. 3. 31	地 方 独 立 行 政 法 人 静 岡 県 立 病 院 機 構	本 校 校 舎 ・ 体 育 館 ・ 運 動 場 他
2	土 地	学 校 敷 地	静 岡 市 駿 河 区 有 東 3-4- 17	学 校 敷 地	学 校 用 地	773.95	0	0	3. 4. 1 ～ 6. 3. 31	静 岡 県 立 駿 河 総 合 高 等 学 校 長	南 の 丘 分 校 駐 車 場
3	土 地	学 校 敷 地	静 岡 市 駿 河 区 有 東 3-4- 17	学 校 敷 地	学 校 用 地	28.38	0	0	3. 4. 1 ～ 6. 3. 31	静 岡 県 立 駿 河 総 合 高 等 学 校 長	南 の 丘 分 校 畑
4	土 地	学 校 敷 地	静 岡 市 駿 河 区 有 東 3-4- 17	学 校 敷 地	学 校 用 地	8.36	0	0	3. 4. 1 ～ 6. 3. 31	静 岡 県 立 駿 河 総 合 高 等 学 校 長	南 の 丘 分 校 倉 庫
土地計						19,594.24		0			
5	建 物	事 務 所 建	静 岡 市 駿 河 区 有 東 3-4- 17	鉄 筋 コン ク リ ー ト 造 5 階 建		$\frac{480.15}{662.72}$	0	0	3. 4. 1 ～ 6. 3. 31	静 岡 県 立 駿 河 総 合 高 等 学 校 長	南 の 丘 分 校 教 室 ・ 職 員 室
6	建 物	事 務 所 建	静 岡 市 駿 河 区 有 東 3-4- 17	鉄 骨 造 2 階 建		$\frac{27.84}{27.84}$	0	0	3. 4. 1 ～ 6. 3. 31	静 岡 県 立 駿 河 総 合 高 等 学 校 長	南 の 丘 分 校 部 室 ・ 倉 庫
7	建 物	事 務 所 建	静 岡 市 駿 河 区 有 東 3-4- 17	鉄 筋 コン ク リ ー ト 造 3 階 建		$\frac{20.70}{20.70}$	0	0	3. 4. 1 ～ 6. 3. 31	静 岡 県 立 駿 河 総 合 高 等 学 校 長	南 の 丘 分 校 防 災 倉 庫
8	建 物	事 務 所 建	静 岡 市 葵 区 漆 山 796	軽 量 鉄 骨 造 2 階 建		$\frac{123.47}{210.60}$	162,800	1,953,600	4. 12. 1 ～ 9. 2. 28	大 和 リ ー ス 株 式 会 社 静 岡 支 店	本 校 特 別 教 室
9	建 物	事 務 所 建	静 岡 市 駿 河 区 有 東 3-4- 17	鉄 筋 コン ク リ ー ト 造 5 階 建		$\frac{65.24}{65.24}$	0	0	5. 4. 1 ～ 8. 3. 31	静 岡 県 立 駿 河 総 合 高 等 学 校 長	南 の 丘 分 校 生 徒 更 衣 室
建物計						$\frac{717.40}{987.10}$	162,800	1,953,600			

□□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和5年度)
(令和5年6月30日現在)

区分	事業名 又は 契約名	内 容	契約額										
				29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
長期継続契約	電子複写機 貸借及び 使用契約 静岡北特別支 援学校外2 校	小型高速機 5台 (静岡視覚 特別支援学 校・中央特 別支援学 校) (契約日) 31.4.1	4,797,669	—	—	836,244	912,365	956,622	1,046,219	1,046,219	—	—	—
	電子複写機 貸借及び 使用契約	小型高速機 2台 (契約日) 29.4.1	2,048,716	322,295	422,381	418,850	403,390	481,800	—	—	—	—	—
	高速フルカ ラープリン ター貸借 契約	小型高速機 1台 (契約日) 30.7.13	2,355,699	—	270,900	468,702	473,004	473,004	473,004	197,085	—	—	—
	高速フルカ ラープリン ター貸借 契約	小型高速機 2台 (契約日) 4.4.1	1,234,200	—	—	—	—	—	246,840	246,840	246,840	246,840	246,840
	通学バス 輸送業務	通学バス 5台 登校便追加5台 (契約日) 3.4.1	125,031,830	—	—	—	—	49,534,134	37,748,844	37,748,852	—	—	—
	給食 業務	給食の調理 配膳調理 (契約日) 2.7.31	49,500,000	—	—	—	11,000,000	16,500,000	16,500,000	5,500,000	—	—	—

□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和5年6月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量 又は 面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用許可 を受けた者の氏名	貸付・ 使用許可 目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	事務所建	静岡市葵区 漆山796	鉄筋コンク リート造	2階建	0.01㎡	円	免除	円 2. 4. 1 ～ 7. 3. 31	静岡市長	同報無線 戸別受信機
2	建物	事務所建	静岡市葵区 漆山796	重量鉄骨造	1階建	7.51㎡		免除	2. 4. 1 ～ 7. 3. 31	静岡北特別支援学 校PTA会長	体育館舞台 幕吊物設備
合計								0			

□□□□□

主要備品調

(令和5年6月30日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	01-13	調理器具	ガス調理機器 1/1ホテルパン20段	月20日(年188日) 給食調理	令和4年1月	円 3,179,550
2	02-01	その他の情報処理機器	校内LANサーバ一式	月18日(年180日) 情報の授業	平成13年3月	2,289,000
3	02-02	放送装置	出力 360W 出力回路 8回路以上	月20日(年200日) 校内放送	平成9年12月	1,974,000
4	01-13	食品食器洗浄機	食器洗浄機	月20日(年188日) 給食食器の洗浄	令和2年3月	1,870,000
5	10-99	その他の教育用機器	木製コングレガーション遊具	月18日(年180日) 小学部のあそび学習	平成17年3月	1,638,000
6	02-02	放送装置	出力 70W×2以上 出力回路 8回路以上	月10日(年100日) 体育館内の放送	平成10年1月	1,499,400
7	02-01	パーソナルコンピュータ 周辺機器	パーソナルコンピュータ 周辺機器	月18日(年180日) 情報の授業	令和元年9月	1,261,516
8	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ (一式)	月18日(年180日) 情報の授業	平成29年1月	1,183,662
9	10-08	その他の芸術用器具	陶芸用電気窯 松栄堂ACD-20RF	利用停止	平成12年3月	1,155,000
10	01-05	印刷機	名刺印刷機ネーム付 NL850PRO モデルS	月18日(年180日) 印刷作業学習	平成16年3月	1,060,500
11	01-13	その他の厨房器具	消毒保管機	月20日(年188日) 給食食器の消毒保管	平成15年3月	1,050,000
12	01-13	その他の厨房器具	食器消毒保管庫 両面式	月20日(年188日) 給食食器の消毒保管	平成12年3月	999,600
13	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ カワサキRX-2	月10日(年100日) 音楽の授業	平成9年3月	995,000
14	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	県立学校ICT環境整備機器 一式	月18日(年180日) 情報の授業	令和2年1月	942,403
15	02-02	放送装置	グランド放送装置	月20日(年188日) グランドの放送	平成18年9月	892,290
16	01-13	その他の厨房器具	食器消毒保管庫	月20日(年188日) 給食食器の消毒保管	平成12年3月	853,650
17	12-01	雑機器	緊急時用浄水装置	月3日(年30日) 防災学習指導	平成19年3月	819,000
18	02-01	その他の情報処理機器	サーバ ラックベースユニット	月18日(年180日) 情報の授業	平成26年3月	760,200
19	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー ダイキン SZAP1	随時(年50日) 校内冷暖房	平成18年7月	743,400
20	10-09	演劇用器具	演劇用器具 緞帳	随時(年20日) 学校行事・演劇学習指導	平成3年1月	740,000

特別支援学校における生産物売払調

令和5年度

(令和5年6月30日現在)

		主な生産品目	
5 年 度	<p><本校・印刷> モノクロ印刷(用紙持ち込み) A4片面、モノクロ印刷(用紙持ち込み) A4両面、ホッチキス綴じ製本、カラー名刺(片面10枚)、カラー名刺(両面10枚)、ヨシ紙カラー名刺(片面10枚)、名刺持ち込み用紙カラー(片面100枚)</p> <p><本校・木工> 木製コースター</p> <p><本校・革工芸> 高級名刺入れ/コインケース</p> <p><南の丘・印刷> うちわ</p> <p><南の丘・工芸> ステンドグラスキーホルダー1パーツ、ステンドグラス(キーホルダー・ピンバッジ)2パーツ、ブックマーク2パーツ金具</p> <p><南の丘・栽培> じゃがいも</p>		
	<p>① 売払金額</p>	57,740 円	②前年度との差額
4 年 度	<p><本校・印刷> メモ帳(50枚)、カラーメモ帳、オリジナルメモ帳(50枚)、モノクロ印刷(再生紙) A4片面、モノクロ印刷(用紙持ち込み) A4片面、カラー印刷(再生紙) A4片面、レーザーモノクロ印刷、ホッチキス綴じ製本、カラー名刺(片面10枚)、カラー名刺(両面10枚)、名刺(表面カラー・裏面モノクロ10枚)、ミニノート、ヨシ紙ポストカード1枚、ヨシ紙メッセージカード10枚、ヨシ紙ぽち袋(3枚セット)</p> <p><本校・木工> 木製コースター、ティッシュケース、カッティングボード(大)、カッティングボード(中)、カッティングボード(小)、はし(男性用)、はし(女性用)、はし(子ども用)</p> <p><本校・工芸> 蓮染めコースター(2枚)、ボックスティッシュカバー、巾着袋、弁当袋、ミニトートバッグ、マルチカバー</p>		

4 年 度	<p><本校・革工芸> IDカードケース、IDカードケース(名刺入り付き)、名刺入れ/コインケース、印鑑ケース、ヘアゴム、トレー(大)、トレー(小)、ペンケース、コーヒーカップスリーブ、ベル型キーケース、眼鏡ケース、高級革ペンケース、高級名刺入れ/コインケース、車用スマートキー専用キーケース、高級スマートフォン用ポーチ、三角コインケース、ぼかし染めキーホルダー、マチ付き名刺・コインケース、ミニコインケース、アメカジ風コインケース、スマートフォン用ポーチ</p> <p><本校・栽培> ナス、ピーマン、ラディッシュ、ジャガイモ、ニンジン、カブ、ホウレンソウ、シュンギク、ダイコン、キュウリ、モロヘイヤ</p> <p><本校・織り> アクリルクロス、アクリルたわし、裂き織りコースター、タッセル</p> <p><本校・縫製> ヘアバンド、はしケース、ころりんぶくろ、おまもり</p> <p><本校・クラフト> ミニ宝箱(大)、ミニ宝箱(小)、まるいカラフルなかご、バンドコースター(2枚)、しましまボード</p> <p><本校・編み> 鍋敷き、座布団、ニットコースター(2枚)、ポケットティッシュケース、マクラメコースター、マクラメポーチ</p> <p><本校・紙工> 丸コースター(2個)、メモ帳(1つ)、油とりパック(3個)</p> <p><本校・紙すき> カレンダー(スタンド付き)、名刺&メッセージカード、アロマチップ5g(3個入)</p> <p><本校・農園芸> プラントハンガー1本・ポトスの苗1個セット、ボタニカルキャンドル、ビオラの苗(2個)、大根、かぶ、赤かぶ</p> <p><南の丘・印刷> 名刺持ち込み用紙カラー(片面100枚)、名刺ヒヤシンス・パンジー用紙カラー(片面100枚)、名刺ヒヤシンス・パンジー用紙モノクロ(片面100枚)、名刺ヒヤシンス・パンジー用紙モノクロ(両面100枚)、名刺バナナペーパー用紙カラー(片面100枚)、輪転機印刷用紙持込み片面、輪転機印刷用紙持込み両面、輪転機印刷A4再生紙使用片面、C811daカラー印刷用紙持込みA4片面、C811daカラー印刷コピー紙使用A4片面、C811daカラー印刷コピー紙使用A3片面、一筆箋、メモ帳、製本、うちわ</p>
-------------	---

4 年 度	<p><南の丘・工芸> ステンドグラスキーホルダー1パーツ、ステンドグラス(キーホルダー・ピンバッジ小)2パーツ、ステンドグラス(キーホルダー・ピンバッジ)2パーツ、ステンドグラス(キーホルダー・ピンバッジ)4パーツ、ステンドグラス(キーホルダー)6パーツ、みなみドロップ50グラム、ガラスフュージング(キーホルダー)、ガラスフュージング(アクセサリ)、写真立て、ガラスボックス、ブックマーク</p> <p><南の丘・栽培> ブロッコリー、じゃがいも、玉ねぎ、トウモロコシ、ピーマン、枝豆、トマト、かぶ、しそ、なす、大根、ほうれん草</p>			
	① 売払金額	891,231 円	②前年度との差額	△358,352 円
3 年 度	<p><本校・印刷> メモ帳(50枚)、カラーメモ帳、オリジナルメモ帳(50枚)、白黒印刷(再生紙)A4片面、白黒印刷(用紙持ち込み)A4片面、カラー印刷(再生紙)A4片面、レーザー印刷(白黒)、くるみ綴じ製本、ホッチキス綴じ製本、名刺(白黒のみ片面10枚)、名刺(カラー片面10枚)、名刺(カラー両面10枚)、名刺(表面カラー・裏面モノクロ10枚)、ヨシ紙カラー名刺(片面10枚)、ミニノート、ヨシ紙ぼち袋(3枚セット)、カレンダーA4サイズ製本テープ、一筆箋</p> <p><本校・木工> 木製コースター、木製キーホルダー、ティッシュケース、カッティングボード(大)、カッティングボード(中)、カッティングボード(小)、はし(男性用)、はし(女性用)、はし(子ども用)</p> <p><本校・工芸> 蓮染めコースター(1枚)、蓮染めコースター(2枚)、エコバック小、エコバック大、ボックスティッシュカバー</p> <p><本校・革工芸> IDカードケース、ペンケース、名刺入れ/コインケース、印鑑ケース、ヘアゴム、トレー、スマートフォンケース、コーヒーカップスリーブ、ブックカバー、ベル型キーケース、革ティッシュケース、眼鏡ケース、高級ペンケース、高級名刺入れ/コインケース、トレー小</p> <p><本校・栽培> ナス、ピーマン、キュウリ、ジャガイモ、人参、カブ、ハウレンソウ、春菊、小松菜、大根、ルッコラ、チンゲンサイ、サツマイモ、ラディッシュ</p> <p><本校・織り> アクリルクロス、アクリルたわし、裂き織りミニマット、カードケース</p>			

3 年 度	<p><本校・縫製> バッグ、マスクケース、トレイ、マルチケース</p> <p><本校・クラフト> 植物を入れるヤーツ、壁掛けフォトホルダー、バンドコースター(2枚)、 しましまボード</p> <p><本校・編み> スリッパM、スリッパL、座布団、鍋敷き、マルチクリーナー、コースター (ハート)、コースター(ニコちゃん)、コースター(チェック)</p> <p><本校・紙工> 使い捨てマスクケース、メモ帳、油とりパック、鉛筆立て</p> <p><本校・紙すき> カレンダー(スタンド付き)、名札カード、アロマチップ5g(3個入)</p> <p><本校・農園芸> プラントハンガー1本・ビオラの苗1個セット、ボタニカルキャンドル、 大根、かぶ、スティックセニョール</p> <p><南の丘・印刷> 名刺持ち込み用紙カラー(片面100枚)、名刺ヒヤシンス・パンジー用紙カ ラー(両面100枚)、名刺ヒヤシンス・パンジー用紙モノクロ(片面100枚)、 名刺バナナペーパー用紙カラー(片面100枚)、輪転機印刷用紙持込み片 面、輪転機印刷A3再生紙使用片面、C811daカラー印刷用紙持込みA4片 面、C811daカラー印刷用紙持込みA4両面、C811daカラー印刷用紙持込 みA3片面、一筆箋、メモ帳、うちわ</p> <p><南の丘・工芸> ステンドグラスオーナメント、ステンドグラスキーホルダー1パーツ、ス テンドグラス(キーホルダー・ピンバッジ小)2パーツ、ステンドグラス(キ ーホルダー・ピンバッジ)2パーツ、ステンドグラス(キーホルダー・ピン バッジ)3パーツ、ステンドグラス(キーホルダー)6パーツ、ステンドグ ラス置き飾り4パーツ、富士山コースター、みなみドロップ50グラム、 ガラスフェージング(アクセサリー)</p> <p><南の丘・栽培> ブロッコリー、じゃがいも、ネギ、トウモロコシ、ピーマン、枝豆、トマ ト、かぶ、しそ、なす、大根、ほうれん草</p>		
	① 売払金額	1,249,583円	②前年度との差額